新京日日新聞
夕刊
七月五日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

皇師堂々漢口へ・漢口へ

濁流渦卷く長江進擊
湖口〔江西省〕を攻略
海、陸、空三位一體の妙發揮

【南京五日發國通至急報】艦隊報道部は四日午後六時湖口を占領せる旨五日午前十時(滿洲時間)發表した▲【南京五日發國通】艦隊報道部四日午前十時發表＝海軍遡江部隊及び陸軍○○部隊は六月二十三日頃安慶を進發、連日の悪天候を冒し渦卷く激流を克服し航空機の果敢な掩護のもとに江上無數の機雷を清掃し閉塞線を掃蕩啓開し、また至るところ頑敵を破碎し江岸要地を占領し海陸空三位一體完備の妙を致し共同作戰の實をあげ遂に七月四日江岸の要衝湖口を占領せり、これよりさき六月十三日安慶攻略完成するや揚子江部隊の一部は直ちに水路哨戒啓開の遡江進擊を開始、十八日には早くも上流十五浬に進出、敵の空襲江岸に連座する陣地よりの敵の猛擊を浴び、これを擊攘制壓進擊の一途を辿り、廿九日難中の難とせられたる馬當鎮閉塞線啓開に驚異的成功を收め、遂に下揚子江四百四十浬制壓の偉業を樹てたり、本作戰期間中處分せる機雷實に二百五十六個に達せり、江上部隊及び航空隊ともに士氣いよ〳〵旺盛潑剌として進擊を續けつゝあり

馬當鎮要塞陷落す

【馬當鎮五日發國通】烏石山陣地を確保しさらに戰果を擴張すべく夜間戰鬪を續行しつゝ廿六日黎明を迎へた高橋部隊は、午前中に娘々廟の砲臺陣地を拔き、陸軍飛行隊安部、押田兩部隊協力のもとにいよ〳〵馬當鎮本要塞の猛攻擊を開始し、夕刻までに大山、黃山の要塞を相ついで攻略し、午後六時すぎには敵が揚子江の守りと頼む最も重要なる要塞の一つたる馬當鎮の全要塞地帶を完全に占領した、この日の攻略戰において敵二百を倒し、重砲九、野砲四、高射砲三を鹵獲し赫々たる戰果を收めた、馬當鎮はその要塞と共に軍事上の重要據點たるは勿論、揚子江下流唯一の難所と稱せられてゐる

要塞附近の敗殘兵を掃蕩

【○○艦上にて五日發國通】六月二十七日未明頃から先頭部隊の艦艇は右岸の山へしきりに砲撃を加へてゐる

追ひ

まくられた敵兵がわが陸軍部隊の前進した後を狙つて放棄したばかりの江岸沿ひの香山一帶の山々へ再び這ひ上らうとしてゐるのだ、双眼鏡を覗くと百、二百と塊まつた敵兵の集團が木立の中へ逃げ込む隙も與へず艦砲が次々と木立諸共敵兵を吹飛ばす有樣が手にとるやうに見える、陸軍部隊は午前八時頃遂に馬當鎮の要塞を占領した、堰を切つたやうに進撃を開始したわが海陸兩軍の前に江岸の敵は蜘蛛の子を散らすやうに逃げ惑つてゐる、わが艦艇の援護によつて遡江をつゞけて來た高橋部隊はこの朝燦々たる朝陽を浴び乍ら對岸華陽鎮砲臺附近へぞく〳〵上陸を敢行した、八時半頃敵機六機がわが艦艇の上空に姿を現はした、各艦から間髮も入れず一齊に高射砲を放つと敵機は見る〳〵中に算を亂して潰走し、慌てた敵機は照準もなく爆彈を投下し猛爆による水柱がものすごく江上に立ち上る、この時最前線に掃海をつゞけて居つた○○艦の直ぐ手前で機雷が爆發眞黑い水煙とゝもに轟然爆發した、江岸の殘敵が

機雷

のスイッチを入れたのであらう、間もなく機雷衛所摘發のために陸戰隊は○○に分乘勇躍上陸を敢行した

死體一千を遺棄
皇軍、猛追擊に移る

【彭澤五日發國通】岡中部隊の馬當鎮占領に引續き安慶一番乘りの殊勳を樹てた原田部隊は、田中部隊の跡を追つて前進、廿七日早朝より敵の後方江防要塞司令部及び五十三師司令部の所在地であつた彭澤に向つて攻擊前進を開始した、約二千の敵は馬當鎮西南方六キロの黃山店附近の山地に據つて必死の抵抗を試みたが、原田部隊は交戰約五時間餘にして遂にこれを擊退、田中部隊も揚子江岸に沿ひ山地帶を前進する田中部隊の一部と協力、廿九日午前九時卅分彭澤に堂々入城し、山頂を結ぶ城壁上に高く日章旗を飜した、馬當鎮、彭澤間の敵の遺棄死體は約一千、一方廿八日香口に上陸した佐藤部隊は高橋部隊の左翼になつて馬當鎮附近より西進、廿九日午後十時には彭澤東南方約八キロの石婆嶺を夜襲してこれを占領し、ついで卅日午後六時頃彭澤西南方十八キロのクリークを敵前渡河して娘々廟を占領、七月一日午前十一時には更にこの西方袁山(二四三米の高地)西南方に進出した

濁流を衝いて白石磯に上陸
香山陣地を奪取す

【香山五日發國通】わが揚子江進擊部隊は安慶攻略の輝かしき戰果に滿足することなく直ちに次期作戰に移り、陸海空緊密なる

協力

の下に六月廿二日を期し遡江進擊の火蓋を切つた、一時あたかも增水期に入つた揚子江は水速五ノットの濁流滔々として奔流し、安慶—馬當鎮間の江上は一面に敵が敷設した機雷をもつて埋められ兩岸一帶の敵陣地よりは間斷なき集中射擊に遭ひ、一日數回にわたる敵の空襲など大自然の猛威に加ふるに空陸水上三面の猛烈な抵抗に遭遇したが、わが陸海兩軍は斷乎としてこれ等の惡條件を見事に克服して漢口の心膽を寒からしめた、馬當鎮攻略の命を受けた○○兵團高橋、中島、淺富、長山など各部隊は廿二日午後一時○○隻の御用船に分乘威風江上を壓して安慶を出發、廿三、廿四兩日は滿々たる鬪志をたゝえて濁流の中に送り廿四日午前三時頃香口下流六キロの白石磯に敵前上陸を決行した、海軍江上部隊と密接なる協力の下に高橋部隊は雷鳴を伴つた大豪雨の中を胸を洗ふ濁流を冒して江岸に到達、三百米前方よりする敵の猛射をくゞりつゝ五十米餘の斷崖をよぢ上り見事敵前上陸に成功した、敵前上陸に成功したわが將兵は勇氣百倍、直ちに攻擊前進に移り拂曉前には早くも白石磯南方に聳ゆる宗佛山の敵陣地を上陸第一歩の血祭りに上げ同午前十時には峰續きの二五四米高地に肉薄、地の利をたのんで必死の十字砲火を浴びせる敵大部隊と壯烈極まる

雨中

の白兵戰を演じたのちこれを奪取、追擊戰を續行しつゝ正午香山を占領して茲に香口の死命を制した

大擧南昌を奇襲
五十一機を擊破
わが海の荒鷲活躍

【上海五日發國通】陸戰隊報道部發表＝四日午後三時わが海軍航空隊は南昌を空襲、敵五十機と大空中戰を演じ內四十五機を擊墜し六機を爆破せり

敵第一線の全機を潰滅

【上海五日發國通】艦隊報道部發表＝馬野少佐、相生大尉の指揮する海軍航空隊の精鋭○○機は四日午後三時南昌大空襲を決行この日絶好の空戰日和、南昌上空殆んど片雲をも認めず、わが航空部隊は南昌新舊兩飛行場に數百の爆彈の雨を降らせ、地上の敵機六機を爆破、うち三機を炎上、飛行場施設に潰滅的損害を與へたり、此時われに向ひ來る敵約五十機と壯烈無比の空中戰鬪を演じその大部分を擊墜せり、われに向ひ來る敵戰鬪機は五十五型を主力とし十六型、カーチスホーク、グロスター・グラジエーターこれに加はり殆んど敵第一線機の全部を集めたるものなり、わが精鋭の機力實力は克くこの數字的優勢を壓倒し殘る所なきまでに擊墜せり、この日空中戰鬪により擊墜せる敵機四十五機なり、即ち地上空中にて敵航空機を擊破すること五十一機となり、わが方未だ歸還せざるもの一機

豪膽比なき小川中尉

【上海五日發國通】四日の南昌大空襲は戰鬪部隊、爆擊部隊ともに稀有の活躍を演じ、南昌新舊兩飛行場に徹底的大打擊を與へ敵戰鬪機四十五機を

擊墜

したが、わが損害は微傷三人といふ見事な成果を收めた、すなはちわが猛爆部隊の數十機は四日南昌方面快晴の報に十數日間に亙る降雨におしこめられた憂鬱をふきとばし馬野少佐指揮のもとに揚子江上空を翼を連ねて遡江、南昌に至るや防空砲火なきまゝに思ふ存分爆彈の雨を降らせ舊飛行場においては格納庫四個全部に全彈を命中、火災を起さしめ、新飛行場に於ては格納庫十個中八個までを滅茶苦茶に破壞せしめた、わが爆擊空襲部隊の來襲を知つて小癪にもこれを邀擊せんと飛び來れる敵戰鬪機を鄱陽湖上空に迎へてわが指揮官機めがけて飛びかゝる敵機を次々に得意の集中射擊によつて一つ〳〵確實に射止め、遂に敵戰鬪機四十五機を完全に擊墜、內多數は鄱陽湖上に波紋を描きつゝ墜落した、なほこの爆擊部隊の空中戰鬪中小川威中尉機(操縱士安平力一空曹)は爆擊を終つた瞬間敵戰鬪機に圍繞されて數彈は右翼燃料庫に當つて火災を起した、小川中尉は最早これまでとばかり自爆を覺悟したが、窮餘の一策として最大速度の急降下により空氣摩擦の消火を案出、危險極まりなき急降下を二度までも斷行し地上すれ〳〵にまで降下して遂に風當りによる消火に成功した、拔群、豪膽、天晴相伴つて

未だ

かつてなき奇策により遂に無事僚機に追ひつき機翼に深き痛手を負ひつゝも悠々○○基地に歸還した

勇壯決死の機雷爆破作業
新聞、通信二特派員を失ふ

【○○五日發國通】○○部隊挺身隊の勇士○○名、同盟通信社寫眞部次長下津久男氏、讀賣新聞社若月特派員等の

尊い

犧牲者を出した東流水道の機雷陣を見事突破したわが無敵揚子江遡江部隊は六月廿四日には一路敵の要衝華陽鎮下流の一大機雷陣に突入した、この日夜來の豪雨はやんだが重苦しい雨雲は江上に低く垂れこめてゐる、恐れを知らぬわが決死の掃海艇隊はこの眼に餘る無數の機雷陣を巧みに縫つて進み到る所で發見した機雷を爆破し決死の奮鬪を續けてゐる、未明香口より上陸した陸軍高橋部隊の精鋭が江岸の高地をまつしぐらに前進してゐる姿が蟻のやうに双眼鏡にうつる有樣、雲を衝いて飛來する海軍機は次々に甲板に通信筒を落してゆく、それによると馬當鎮前面のブロッケードには三千噸級の商船九隻を沈めその周圍には無數の機雷が敷設されてあり、此處は

機雷

だらけだぞと困難な遡江戰に赤黑く陽焦けした○○司令官はじつとみつめながら緊張する、この時直ぐ前方三百米位の江上でターンターンと底力ある水音がしたかと思ふと見事な水柱が四本眞黑の煙と共に上つた、その水柱の下を潛つて小さい掃海艇が小魚のやうに走つて行く、何といふ勇敢さだ、「元氣な奴だな」これこそ本當の決死の作業だ「司令官はかういつて滿足さうに眼鏡を外した、續いて三發、今度は右手に眞黑い水柱が上つた、その度每に艦上迄ガンガンと鋭い衝擊が傳つて來る、廿日以來發見し處分した機雷は既に百個を突破してゐるが、馬當鎮一帶の機雷の數はまだ幾つあるか判らぬといふ、この無數の機雷陣の眞只中で激流にもまれて艇を操り捨身の機雷爆破をつゞける掃海艇の決死の姿を見守る記者は思はず息詰る、鈍い砲聲がすぐ上流の岸で聞こえはじめた、「見ろ〳〵、またはじめやがつたな」と艦上の砲手は双眼鏡をのぞきながら私語く、やがて馬當鎮の

砲臺

もわが掃海艇目がけてどん〳〵射出して來た、艦側で龍卷のやうな水柱が二、三本立つたわが掃海艇は敵の猛射を物ともせず勇猛果敢な作業を續けてゐる

人事往來

着京

▲杉立雅弘氏(官吏)四日來京大都ホテル ▲岩間壽三氏(木材商)同 ▲稻村峯一氏(同)同 ▲岩間啓次郎氏(同)同 ▲西田雄三郎氏(會社員)同 ▲岡武氏(同)同 ▲友國久吉氏(自動車運輸業)同 ▲高階泰次氏(會社員)同 ▲境野軍郎氏(同)同 ▲加藤增太郎氏(同)同 ▲大家福市氏(木材商)同 ▲米田喜一氏(同)同 ▲大塚巳代治氏(哈市體聯)同 ▲小野六郎氏(電業)同 ▲刈谷稻吉氏(會社員)同 ▲名古屋行顯氏(同)同 ▲鶴岡仁男氏(商業)同國都ホテル ▲福渡文吾氏(福信洋行)同 ▲大山恭三氏(會社員)同 ▲小野碩太氏(滿蒙家畜)同 ▲西川弘志氏(三菱商事)同 ▲御園生義友氏(請負業)同國際ホテル ▲椎名進氏(奉天製粉)同 ▲増田昇平氏(承德地方法院)同

同 ▲鈴木三郎氏(圖們稅關)同 ▲箱木馨氏(協和會職員)同新京ホテル ▲齋藤次郎氏(中銀)同 ▲外岡重次氏(官吏)同蓬萊ホテル ▲森田進氏(滿鐵)同向陽ホテル ▲青山勝造氏(會社員)同 ▲佐倉熊次郎氏(會社員)同滿蒙ホテル ▲岡山下次雄氏(同)同 ▲水卷滿吉氏(鑛業)同 ▲小村國郎氏(中央特產會)同 ▲田邊利雄氏(滿鐵)同 ▲牧野克己氏(官吏)同 ▲西畑正俊氏(滿鐵)同 ▲宮內寅男氏(滿洲畜產)同 ▲安田彌平治氏(滿洲採金)同 ▲內藤雄三郎氏(滿洲石油)同 ▲永井八雄氏(吉林國立病院長)同 ▲近藤正郎氏(滿洲輕金屬)同 ▲坂田俊之亮氏(會社員)同 ▲神田勇氏(協和建物)同都ホテル ▲山本修三氏(商業)同 ▲宮崎重松氏(滿業)同 ▲竹內龍次郎氏(日立製作所)五日來京國都ホテル

出發

▲寺田治一郎氏 四日奉天へ ▲高不二郎氏 同 ▲岡野品吉氏 同 ▲並木武夫氏 同 ▲森田一郎氏 同 ▲高田次郎氏 大連へ ▲早崎和市郎氏 同 ▲村松堅一氏 釜山へ ▲佐藤哲雄氏 羅津へ ▲高橋軍逸氏 哈氏へ ▲薄守次氏 奉天へ ▲麻生博三氏 同 ▲帶刀眞曾衛氏 同 ▲難波義雄氏 同 ▲小川顯德氏 圖們へ ▲兒玉敏尾氏 奉天へ ▲松澤萬三人氏 大連へ ▲兼軍精作氏 牡丹江へ ▲豐田昌稔氏 奉天へ ▲夏海雄一氏 同 ▲吉村金太郎氏 大連へ ▲間瀬五郎氏 同 ▲松尾貞夫氏 同

その日〳〵

□敵機五十一を墜してわが武威愈よあがる、壯烈勇猛の戰績は輝く

□すでに湖口を占領す、一路漢口めざして前進また前進、萬歲聲裡に記念日迎へるか

□日滿伊貿易協定成る、戰時經濟にそれだけの强味加へることを期さう

□大陸經營の前進も、羅馬帝國の再建もしつかりした經濟的基礎に立たねばならぬ

□古い傳統誇りつゝ新しい陽のもとに偉業建設へ、東西相呼應して邁進する

支那事變一周年迎へ 皇軍必勝 武運長久 祈願祭 七日新京神社にて

七月七日事變記念日を迎へて新京神社では忠靈塔に於ける戰病歿將士慰靈祭に先立つて午前九時卅分より皇軍必勝武運長久祈願祭を執行するが多數市民の參列を希望してゐる

事變記念 滿鐵分會の催し

來る七日支那事變記念日行事に關しては協和會が主體となり時局に最も相應しい適切な催が計畫されてゐるが協和會新京滿鐵分會では當日午後六時から西廣場俱樂部に於て講演と映畫會を催し軍藤中將の時局講演、劍舞、事變ニュース映畫を上映などして當時を偲び覺悟を新にすることになつた

全滿組合長急遽參集 當局に嚴重抗議 官選獨斷專行を指摘 地方經濟界の動搖深刻

理事更迭の波紋擴大

全滿金融組合理事の抜討的更迭は中小商工業者を中心とする地方經濟界に一大波紋を與へ經濟部當局の理事官選の獨斷專行はこれまで組合員の組合として地方中小商工業者と密接な關係にあつた金融組合の機能を縮小せしめるものとして一般中小商工業者間に危惧の念を與へてゐるが既に政府によつて決定された異動內容は左の如きもので辭令をうけた各理事中には辭意を洩らすもの多數あり沿線小都市に於る加入組合員はその殆どが在住商工業者であるため地方經濟界に及ぼす影響極めて多く、また組合側では商業登記を得て設立された金融組合の業務上の責任は組合長にあり、從つて法規によつて理事の任命權が經濟部に掌握されてゐても理事更迭を組合長に通絡なくして行ふは言語道斷なりとし經濟部當局の處置を遺憾としてゐる

然して各地組合長は組合責任の歸趨を明かにせんものと激昂し奄谷奉天金融組合長は五日奉天より來京、赤羽新京組合長、小林大石橋組合長等と根本對策を協議し大津安東、加藤哈爾濱そのほか各地組合長の着京を俟つて經濟部當局者に嚴重抗議を申込むことゝなつた

理事異動

聯合會理事 久間文五郎 任四平街金融組合理事

四平街金融組合理事 加藤喜市 任聯合會理事

奉天同理事 近藤義一 任新京同理事

哈爾濱同理事 服部齊一郎 任奉天同理事

遼陽同理事 吉田文藏 任哈爾濱同理事

鐵嶺同理事 原田維之助 任遼陽同理事

大石橋同理事 高梨源藏 任鐵嶺同理事

新京同理事 佐野義臣 任大石橋同理事

鞍山同理事 尾服忠助 任撫順同理事

撫順同理事 板倉市郎 任鞍山同理事

氣分刷新のため 經濟部當局者は語る

右につき經濟部古木銀行科長は左の如く語る

「金融組合理事の異動は組合の機能を削減しようといふ意向で行つたものではない、現在の各組合理事が數年間も同一地に在住してゐるので氣分を一新するために異動を行つたにすぎない庶民金融については當局としても充分の用意を有してゐる、まだ組合代表者に會つてゐないが互ひによく話し合つて諒解して貰ひたいと思つてゐる」

△お盆近づく……

全滿大會は九月廿四、五日 四日軍犬協會緊急幹事會

滿洲軍用犬協會新京支部緊急幹事會は四日午後六時半から大與ビル青葉グリルで開催關屋副支部長以下各幹事出席 支部訓練競技會開催に關する件（八月七日に決定）全滿訓練競技會開催に關する件（九月二十四、五日に決定）土地問題に關する件、協會强化統制に關する件、手當支給に關する件、人事に關する件其他に就き隔意なき意見をたゝかはせ散會した

國都軍犬界の功勞者 高月書記北支へ

國都一戶一犬を目標とする支部の方策に沿ひ獻身的努力をつづけ着々實績をあげてゐる滿洲軍用犬協會新京支部書記高月秀明氏は今回北支に一大飛躍を試みることゝなり過般來辭意を洩らしてゐたが、四日の幹事會に承認され十六日頃家族同伴出發することゝなつた

同氏は昭和十年夙賑を極めた當時の支部更生の重責を擔つて就任以來足掛四年間その敏腕はよく難問題を鮮やかに解決確固たる地歩を築き支部の目標とする一戶一犬に向つて着々實績をあげ今日の全滿一の新京支部を建設するに至り同氏の今後に多大の期待をかけられてゐるとき一身上の止むなき事情のため勇退して北支に新天地を拓くことゝなつたことは單に新京支部のみならず全滿軍犬界のため損失尠からず各方面から痛惜されてゐる

哀れ八才の坊や 恐水病で急死 狂犬病を撲滅せよ

狂犬病の撲滅については首都警察廳で必死の對策を講じ豫防注射に野犬狩りに萬全を期してゐるが、五日市立醫院で惡戲盛りの八才の男の子が恐るべき恐水病の爲遂に死亡附近一帶の人々に大恐慌を與へてゐる

南嶺〇〇官舍齋藤勇氏次男謹一郎君（八才）は去る五月頃附近に遊戲中野犬に咬まれたが狂犬の疑があるので直ちに犬は撲殺し、本人はそのまゝ放任して置いたところ七月三日晚より突如發熱俄然恐水病の症狀を呈して來たので驚いて市立醫院に擔ぎ込んだが既に時を失してをり、手當の甲斐なく五日午前十時頃死去したものである、急報に接した首都警察廳中野獸醫がかけつけ病院及び發生現場の大消毒を行つたこの恐水病は狂犬に咬まれたからとて直ちに發病するものでなく早くて三週間遲い場合は數ケ月を經てから發病するもので手當が遲れゝば現在の醫學の力では如何ともすることが出來ずみすみす見殺しにせねばならず、唾液から傳染するといふ恐るべきものである、尙南嶺附近にはこの狂犬に相當咬まれたものがある模樣であり、同衛生課では心當りのものに大至急豫防注射を受けられる樣警告を發してゐる

谷本司令官歸京

南滿方面を視察中であつた駐滿海軍部司令官谷本馬太郎少將は五日午前七時着列車で村井副官を帶同歸任した

頑迷な一滿商のため 市公署手古摺る 然し市民に迷惑はかけません 中央卸賣市場開設問題

特別市公署で計畫開設準備を急いでゐる中央卸賣市場は既に大部分小賣業者買收の見透しもつき業者の申告に基きこれが買收價格の審査を爲しつゝあり、六月二十二日附をもつて開設認可及び百萬圓の起債認可も濟み、引込線測量も終了今秋迄には開業の運びに至つてゐるにも拘らず、內滿人一軒が頑として買收に應ぜず市當局でも非常に困却してゐるが當局では市民の爲に場合に依つては假營業をしても安價にして低廉な野菜、魚介類を提供すべく準備を進めてゐる

安全運動講演會

滿鐵では現業諸機關に於ける災害事故防止並に一般社員の福利問題に關する認識を深める目的のもとに協調會常務理事產業福利部長蒲生俊文氏を聘して各地で安全運動講演會を催すことゝなつたが新京では八日午後八時から西廣場俱樂部で開催する

豪雨で錦承線故障

奉天鐵道局への報告によれば三日の豪雨のため錦承線南嶺及び錦嶺寺兩驛構內に浸水、一時列車不通となつたが四日南嶺驛は復舊運轉し、錦嶺寺驛も近く復舊の見込である、また錦嶺寺、能家間線路上に岩石落下土砂崩壞あり、能家、金溝間も土砂決潰目下復舊の見込はない

六大學の覇者や 職業野球の雄等 醍醐味滿喫のスケヂユール

都市對抗豫選を終了して後の國都球界を賑はす內地外來チームはファン待望裡に先づ六大學春季リーグ戰の覇者明治が來京、十六日より四日間國都チームと戰を交へる外、八月二日より四日間法政、八月十三日より四日間專修と日程が決定、更に滿洲へ最初の遠征として現在職業野球リーグの首位にある强豪大阪タイガースが來滿、八月廿一日より三日間全新京チームと戰ふことゝなつてゐる、尙中大は都市對抗代表が北滿なる時は南滿へ、代表が南滿なる時は北滿へ來征する豫定なる爲日程未定である

觀光スタンプ展

新京觀光協會では來る八月一日より七日まで一週間にわたり寶山百貨店ギャラリーにおいて觀光スタンプ展覽會を開催することゝなつた

全國都市對抗陸上競技 參加都市、種目決定

大滿洲帝國體育聯盟ならびに大滿洲帝國陸上競技協會では共同主催のもとに治外法權撤廢後最初の全國都市對抗陸上競技大會を來る十日午後二時より新京西公園競技場で擧行するが、參加都市ならびに競技種目は左の如し

△參加都市 新京、奉天、吉林、哈爾濱、齊々哈爾、錦州、撫順、鞍山、遼陽、四平街、大連十一都市

△競技種目（1）トラック＝百米、四百米、千五百米、五千米、百十米障碍、スエーデン繼走（2）フィールド＝走巾跳、走高跳、棒高跳、圓盤投、砲丸投、槍投

なほ優勝は得點數を以て決し得點法は各種目とも第一位六點、第二位五點、第三位四點、第四位三點、第五位二點、第六位一點

北滿豫選 兩チーム着京時間

都市對抗北滿豫選に出場する哈爾濱チームは五日午後九時三十六分來京、四平街チームは六日午後零時三十分來京、何れも大都ホテルへ投宿する

北滿豫選入場料

六日から西公園で擧行される同豫選の入場料は一般五十錢各チーム後援會券所持者三十錢、婦人、學生二十錢に決定した

全天津勝つ 對米海軍野球

【北平四日發國通】全天津對米國海軍定期野球試合は三、四の兩日北京米國兵營球場で擧行、五對四、十對八の成績で全天津が定期戰開始以來はじめて連勝をとげた

日本陸聯滿洲に選手派遣決定

【東京國通】日本陸上競技聯盟では滿洲國の日滿對抗競技の招聘に應ずることゝなり、四日午後三時出場選手の氏名を發表したが、新進氣鋭の選手を中心に國際競技に經驗のある選手を加へてをり、監督には織田尙門氏が當ることゝなつた、なほ一行は來る十二日東京出發、廿三、四日新京において開かれる日滿對抗競技會に出場する筈

メンバー

【東京國通】一、選手 吉原隆信（京大）、金田淸英（慶大）、向井保男（文理大）、湯淺徹平（慶大）、佐藤勝三（日大）、鶴澤仁三（京大）、石田正己（日大）、戶田一雄（關學）、田中秀雄（簡易保險）、宮城福次（明大）、小林陸太（八幡製鐵）、鄕野喜一（日大）、平田一郎（明大）、岡村元仁（慶大）、藤田喜代治（文理大）、大江秀雄（慶大O、B）神代芳郎（日大）、鈴木源三郎（日大）、淺倉政之（文理大）、井上增吉（日大）、原學（明大）、和賀行男（釜石製鐵）、大室雅彥（關大）

一、監督 織田尙門

一、マネージャ 丸三郎

一、七月十二日夜東京發大連奉天等に立ち寄り二十三、四日新京で日滿對抗競技會を開くこと

あすの野球 滿洲國對哈爾濱（午後四時 西公園球場）

五・一五事件の三氏今曉出所

【東京國通】五・一五事件に連坐禁錮十五年に處せられた海軍側被告元海軍中尉古賀淸志、同三上卓、同十三年に處せられた元海軍少尉黑岩勇の三氏は昭和八年十一月十三日小菅刑務所に下獄、爾來模範囚といはれてゐたが奇しくも支那事變の滿一周年記念日を前にして假出所の恩典に浴し滿四年九ケ月ぶりで五日早曉出所した、三氏とも非常な元氣で直ちに自動車で宮城前に至り遙拜、更に靖國神社、明治神宮等に參拜した

中銀梯君の慰靈祭 九日公會堂で

滿洲中央銀行員梯茂生君（二八）は今次支那事變に陸軍步兵伍長として出征中、去る三月十一日山西省五寨の戰鬪で名譽の戰死をとげたが、同君の慰靈祭は來る九日午後二時から記念公會堂で執行する

和田大新京日報社長挨拶に來社

大新京日報社長和田日出吉氏は五日、主幹笠神志都延氏と挨拶に來社

田中國通事業部長

新任滿洲國通信社事業部長田中寬次氏は五日挨拶に來社

加藤奉天放送局長

奉天中央放送局長に新任の加藤誠之氏は六日午前十時發列車で赴任に決定、五日挨拶に來社

盛京支社長更任披露宴

盛京時報社では四日午後七時からヤマトホテルで在京新聞通信關係代表者を招待、新京支社長更迭披露を行つた

あす（六日）

▲都市對抗野球北滿豫選、哈爾濱對滿洲國、午後四時、西公園球場

▲軟式實業野球、午後四時半 西山球場

▲足球リーグ戰

今晩の主なる放送

▲七・三〇國民歌謠（大阪）中村保文 ▲八・〇〇管絃樂（東京）日本放送交響樂團 ▲八・四五新民謠「山水を歌ふ」（京城）金玉眞外 ▲九・〇〇ラヂオドラマ「忘れた寫眞機」大同劇團

中國代表劇團"京劇" 愈よあす開演 五日間豐樂劇場で

中華民國の名優金少山及び花形女優吳素秋を中心としてなる北京松竹社一座は愈よ六日より五日間、東方文化協會主催の下に豐樂劇場において藝をあけるが、これまで幾度か企てられて成功しなかつた中國一流劇團の招聘實現は滿洲文化部門に資す劃期的收穫として各方面より期待の聲が高い、一行はけふ午後四時半着列車で入京、直ちに公演準備に取りかゝる筈であるが、文化協會では京劇招聘に就て左の如く語つてゐる【寫眞は花形女優吳素秋】

滿洲國建國五箇年の間各方面は支那一流の劇團を招聘せんとするの議は幾度か題目となりましたがその都度不成功に終りました、これは從來の國際狀勢が然らしめたのでありまして名聲高き俳優は自己の身邊の都合と治安上の不安との爲めに絕對來滿爲し得なかつたのであります、今度皇軍の破邪顯正の劍閃くや立所に暗雲一掃され北支の天地爲めに明朗となるに及び期せずして滿華民衆は手を握り往昔の一族一家の平和時代の招來を希て居ります、この機に際し滿洲國人娛樂の內最も渴望しつゝある中國代表劇團の公演はその魁をなすものとして各方面の歡迎を受くることと必然なると同時に滿洲國の藝術向上の上より貢獻するもの尠なからざるを信じ茲に萬難を排して今回の擧に出たのであります、此企に對しては北京中央放送局と滿洲電信電話株式會社放送部が特別の援護を與へられ劇團の選定、交涉その他あらゆる點に御盡力を頂きました、一方現在滿洲國に於ても國務院總務廳弘報處、協和會本部、弘報協會共に滿腔の贊意を表せられ茲に滿洲國協和會、滿洲弘報協會、滿洲電信電話株式會社各地放送局を後援として滿支文化交流の第一聲を擧ぐることゝなつたのであります、尙今回の催を遍く滿洲國民衆に識らしめて趣旨の貫徹に勉むる爲漢字新聞社たる盛京、大北、大同の三社が主催者側に加はつて頂きました、各位の御贊意を希ふ次第であります

銀キネ、朝日座 寫眞替り

銀座キネマ五日よりの番組は左記東寶今井「猛虎一代」大都「烈士村上喜劍」の二本立である

▽東寶今井「猛虎一代」原作脚色中川信夫、演出稻川餃兒、羅門光三郎、月宮乙女主演

▽大都「烈士村上喜劍」中島寶三監督、松山昌三九、松山宗三郎、東龍子、水川八重子共演

朝日座五日よりの番組は左記日活再映二本立である

▽日活京都「怪盜白頭巾」稻垣浩監督、大河內傳次郎主演、黑川彌太郎、高瀨實乘、鳥羽陽之助、市川百々之助、淸川莊司、花井蘭子助演、前後篇同時上映

▽日活多摩川「美人賞」水ケ江龍一監督、杉狂兒、星玲子のコンビになる明朗篇

サボテン

頭髮を男並みに刈上げ男裝の女給として知られてゐた赤玉の了(サトル)君は要するにその斷髮もよつて來るところ男の注目を引く事が目的であつた、ところが最近彼女の頭髮は女並に段々と長くなりつゝある▼大なる心境の變化である、聞いてみると曰く『男つてやつぱり女を求めるに來るのネ、誰れでも女らしい方がいゝつて言ふので斷然延ばして女に返るつもりだワ』と更に語を次いで『もう知つてゐる方もたくさん出來たから……エ、毎晩一回位は……』傍らに居た茜(アカネ)君トタンに『姉ちやん毎晩一回—』とびつくり▼さう言ふ君はまだ年も若いんだが一匹の蠅を追つて『ア、滿洲は蠅までうるさいんだね』彼女は「まで」にとくに力を入れたのである

雜音

長春座「純情夫人」はあなどり難い吸引力を發揮する、月曜日も相當な客足を見せてゐた▼次いで八日より「黑田誠忠錄」と「皆んな見えなくなる峠」續いて久々の島津もの、佐野、高杉の「愛より愛へ」と久松三律枝の「黑髮夜叉」の二本立、あとに田中、佐分利の「母と子」上原、夏川、桑野の「炎の詩」佐野、高杉の「彼女は何を覺えたか」など現代ものプロに多彩なものが並んでゐる▼豐劇は金少山一行の後をうけて東寶「日本一の岡ッ引」「雷親爺」東發「若い人」松竹「噛みついた花嫁」「初姿お神樂半次」などかなり充實した二番プロが待機してゐる

謹告

謹んで豐劇ファンの皆様にお斷り申上げますこの度中華民國の名優金少山及び北支の花形女優吳素秋を中心とする北京松竹社一座の藝術を今回滿洲國に御紹介申す事になりました、就いては其の主旨と經過を記し各位の御賢解を得たいと存じます、滿洲國建國此方五ケ年間各方面に支那一流の劇團を招聘せんとするの議は幾度か題目となりましたが其の都度不成功に終りました、これは從來の國際狀勢が然らしめたのでありました、名聲高き俳優は自己の身邊の都合と治安上の不安との爲めに絕對來滿爲し得なかつたのであります然るに今度皇軍の破邪顯正の劍閃くや立所に暗雲一掃され北支の天地爲めに明朗となるに及び期せずして滿華民衆は手を握り往昔の一族一家の平和時代の招來を希つて居ります

この期に際し滿洲國人娛樂の內最も渴望しつゝある中國代表劇團の公演はその魁をなすものとして各方面の觀迎を受くる事必然なると同時に滿洲國の藝術上の上より貢獻するもの尠からざるを信じ茲に萬難を排し左記の諸官廳並に諸會社の御後援の下にこの擧に出て特に日滿合辦豐樂劇場に於て自七月六日至七月十日公演する事になりました豐劇ファンの各位はこの主旨に御贊同下さいますやう、就いては甚だ勝手乍ら映畫は休ませて戴きます、尙ほ御觀劇のお方には特に日本語解說付プログラムを差上げます、支那演藝とは斯くの如きものであると……滿支文化交流の第一聲を擧げこゝに公演。何卒御觀劇下さいます事を切にお願ひ申上げます

主催 東方文化協會 大同報社 盛京時報社
後援 滿洲帝國協和會 新京放送局 滿洲電信電話株式會社 滿洲弘報協會 滿洲映畫協會

全滿鐵道の貨物運賃改正の全貌（一）

奉天 武田文三

▲改正の主旨

久しく待望されてゐた全滿鐵道貨物運賃改正はいよ／＼本秋十月一日を期し斷行、躍進滿洲國の產業開發促進に一層の拍車を加へることゝなつたが、今次運賃改正の主旨とするところは

昭和十一年十月、滿鐵では鐵道部、鐵路總局を合併して新たに社線、國線、北鮮線を一括經營すべき鐵道總局を設立、同時に從來社、國、北鮮線各別に制定されてゐた客貨運送規定その他一切の諸規則、諸制度を擧げて廢合統一し以て全滿鐵道一貫經營の實現に邁進し來つたのであるが獨り運賃制度のみは種々の事情により未だ社、國、北鮮線各別に分離されてをり、取扱上の不便は勿論、かゝる狀態を以てしては全滿鐵道一元經營の機能を充分に發揮し得ざる嫌があり、これに加へて近時國際間の關係は日一日と緊迫の度を加へ更に今次支那事變を契機として重工業部門を樞軸とする滿洲產業開發五ケ年計畫の急速なる完成が要望せられ、これが當然の歸結として現行運賃制度の全面的改正が呼ばれるに至つた、こゝにおいて滿鐵ではかゝる內外の諸情勢に適應すると共に戰時における產業開發國策の線に沿ひ、眞に滿洲開拓鐵道としての重大使命遂行に萬遺憾なきを期すべく全滿鐵道貨物運賃の根本的建直しにつき鋭意研究中のところこゝに成案を得、正式實施の段取りとなつたものである

しかして、右運賃の大改正により滿鐵多年の懸案たる全滿鐵道一元化の大理想は名實共に完成の域に到達したと同時に戰時下にある國內產業の急速なる開發促進に一大貢獻を齎すべく、眞に刮目に値するものがある

農事合作社が證券取引制度

交易市場事業のため確立

政府は昨年農事合作社制度を創設して以來、これが運用の基本的重點を生產檢査および交易市場の經營と、更にこれと相互一體的關係にある農業倉庫の經營および倉庫金融事業の確立に置き、同時に合作社信用事業部門の機能を積極的に擴充すると共に、更に農民および糧棧、特產商間の現行取引機構を合理的に改革する手段として全國農事合作社の生產檢査および交易市場經營における證券取引制度の實現を企圖してゐたが、今回全國における模範合作社たる綏化および鐵嶺兩縣の合作社にこれを實施し、その實績を見た上で全國的に實施する方針を決定し目下着々準備を進めつゝある模樣である、すなはち農事合作社交易市場の證券取引についてはさきに綏化縣合作社當事者に依り要望されてゐる如く、滿洲事變後特產取引の形態および取引の經路方法が急速に變化して以來、特產商の買付競爭は日を逐うて激化し、過去における都市取引は交通の便および取引助長機關の整備に伴つて漸次沿線取引に移行せざるを得なくなり、最近に至つては殆んど沿線より遠く離れた糧棧に直接或ひは代理買付の形式をもつて進出してゐる狀態であつて從つて業者としては斯くの如き競爭に依る不利不便を免れるため先づ奧地で買付けたる品物を現地で證券化しこれに依つて奧地を始發地とする直通證券として全國的規模において證券取引を行ふ方法を要望してゐる狀態であり且つこれを農民の立場よりすれば

一、倉庫金融に依つて當面の必要資金を充當し得るのみならず、餘裕あるものは必要な時期に手放し得

二、劃安な手數料に依つて合作社に代賣を依頼することも可能となる

のみならず證券取引が行はるれば現行交易市場制度の下で行はれる糧棧の不正および思惑に依る各種の不當利得は徹底的に消滅する筈で、證券取引の仕組に就いては大體次の如き內容が豫想されてゐる、即ち

一、農民の搬入せる積荷を直接倉庫に持込ませそこで格付け、計量、調整、檢査の手續きをとり、受託品の保管證券を作成して荷主に渡す

二、その場合交易市場は受託品に對し絕對的責任を負ひ交易市場にはこの證券を提出せしめて證券賣買とし、買方はこれに依つて現物を見ずに買入れる

三、買入れた證券は流通性を持つ故銀行はこれを擔保品として融資す

四、銀行側においても現品を見ずに貸付可能となり且つ擔保品の變製、紛失の懸念もなく再割引も利く、又糧棧は證券を各地の市場に賣却することが可能且つ自由となり、各地の買方も又現物を見ることなく買付け得る

五、更に右證券は掛金の支拂ひのために農民が雜貨店に持込むことも自由である

六、交易市場倉庫は寄託農民に對し寄託保管品を擔保として金融を行ふ

而して證券取引の實施に伴ふ糧棧倉庫および引込線の接收については政府は目下兩合作社當局と協力し、それ／＼地場糧棧および鐵道總局と折衝を遂げつゝあるが、更に證券の流通範圍および取得範圍その他についても目下細目に亘つて討究中であり近く方針決定次第速急に實施する筈で本制度の運用に就いては甚大な注目が持たれてゐる

新京商工公會 物價委員決定

新京商工公會は四日午後一時から軍人會館で職員會を開催、高橋副會長以下各職員、市公署から深井行政科長、小平事務官出席、物價委員會の委員を左の如く決定した

（委員長）石崎副會長（委員）竹內理事、加藤理事、四戶理事、寺內理事、井上參事、福田參事、清水參事、彼末參事、阿部參事、石井參事、史理事、王理事、劉理事、楊參事、李參事、陳參事、孫參事、田參事

委託小荷物扱所規定 八月一日實施

鐵道總局では小荷物の激增に鑑み今回滿鐵會社委託小荷物扱所規則を制定、來る八月一日より實施することになり四日正式發表した、委託小荷物扱所規則內容次の如し

一、委託小荷物扱所においては鐵道小荷物の受託をなす

一、小荷物扱所において受託すべき小荷物の類左の如し（但し貨物引換證の發行を要する小荷物はその取扱をなさず）

イ、通常小荷物

ロ、貴重品（金貨、銀貨、軍用手票、印紙郵便切手、公債證書、大藏省證券、株券、債券、商品券その他有價證券を除く）

ハ、食料品（生鮮魚介、海老類及び氷を除く）

一、小荷物扱所の名稱、位置及び所管驛左の如し（逐次全滿主要都市に及ぼす豫定）

奉天 大西關小荷物扱所　位置 奉天市大西關大街　所管驛 奉天

一、小荷物扱所において受託したる小荷物はこれを所管驛において託送したるものと見做し取扱ふものとす

一、代金引換小荷物に對する引換代金は所管驛においてこれが支拂をなす

奉天工業同業公會 結成整備完了 工業助成を强化

奉天市當局では新情勢に應じる工業助成策の一つとしてかねてより管內滿人側工場を部門別に組織した同業公會結成整備を急いでゐたが、染色、紡績、針織皮業、手工その他合計卅三公會の結成整備を完了したので更にこれ等各公會の業務連絡を圖るため四日午後一時より市公署會議室に最初の同業公會聯合座談會を開催、市當局より倉橋勸業科事務官、孟同工業股長、商工公會より八百枝產業科長、鈴木業務科長ほか關係者並に各公會代表全員出席、先づ工業同業會聯合辦事處設立の件につき協議の結果、同辦事處を商工公會內に設立することに決定、次いで左の諸事項につき協議した

一、各公會現狀報告

一、各公會々務方針說明並に希望事項の開陳

一、各公會々員の本年度鐵西日本側工場見學團組織の件

一、聯合會懇談會を每月一回開催の件

東拓錦州に進出

東拓奉天支店では最近の錦州[illegible]

全滿株式會社 利益、配當率

＝康德四年下半期＝

中銀調查＝康德四年十二月末現在に於ける全滿（關東州を含む）株式會社は社數約九百七十社、公稱資本約二十六億四千八百萬圓、拂込資本約十八億五千七百萬圓であるが、其の內康德四年六月より同十二月の間に決算期を有する會社中主要なるもの二百五十九社を採り其の利益率、配當率を見るに、總計拂込資本約六億三千一百萬圓に對し、利益金額四千一百萬圓、利益年率一割一分六厘、配當金額二千三百萬圓、配當率七分三厘となつてゐる、今これを二十一業種に分ち業種別に見るに、最高利益率を擧げたのは無盡業で、康德三年末銀行合併以降庶務金融機關としての最重要地位を占め來りたる事實を反映し貸付金漸增に伴ひ今期に於ては平均利益率五割七分五厘の高率となつた、平均配當率は六分五厘で其の割に大でないのは、無盡業法に依り實質上配當制限を受ける爲で拂込資本に對する積立金の割合が著しく多く、高率の社內留保を强制される爲である、次は製材木製品工業の四割一分一厘、配當率一割四分六厘であつて、建築用及び軍用材として需要激增による斯業の活況を物語つてゐる、無盡業として製材木製品工業に亞ぐ交通運輸業は利益率二割八分一厘、配當率五分一厘で、海運業の近海船貨昂騰による好影響は事變勃發當初の休航により受けたる打擊を補ふに足り陸運業は交通發達による自然的增收である、但し配當率が著しく低いのは、大連汽船の低率配當により平均數字の影響された爲である請負勞力供給業は期初諸材料の暴騰、輸送機關の一時的杜絕による材料不足の支障を蒙つたが、大體前期と同樣の利益率一割九分九厘配當率一割二分を保つた、次いで商事會社、市場會社電氣瓦斯業、食料品工業、金融賣買仲介業、倉庫保險通信業及び紡織染色工業の順序となつてゐるが、其の詳細は左表の如くである

▲利益配當率

業種	社數	公稱	[illegible]	[illegible]
取引所清算會社	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
無盡業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金融賣買仲介業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商事會社	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
市場	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
紡織染色工業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
化學工業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金屬機械器具工業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
製材木製品工業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
食料品工業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雜業工業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鑛業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
電氣、瓦斯	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
交通運輸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
倉庫、保險通信	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
土地、建物	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
拓植、興業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
請負勞力供給	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新聞、印刷	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
旅館娛樂場	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雜	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

枕木等の自給自足 滿鐵で計畫中

滿鐵では國線ならびに社線に使用する枕木、枕木ならびに各種建設材料を補給する木材に關し年二、三千石の米材輸入を行つてゐたが、最近奧地鐵道建設も略々完成、興安嶺東山方面の豐富なる紅松その他の森林開發も充分見透がついたので今後は木材輸入を制限禁止し自給自足の方針の下に進むことになり四日の重役會議に附議種々協議したが、滿洲國政府當局の協力を要請實現を圖ることゝなつた

……がます／＼經濟的基礎を確立し新京市計畫も進捗しつゝある現狀に鑑み、今後これら都市計畫資金ならびに一般建築資金の需要が必然的に起ると の見透しから同地方に積極的進出を圖るべく目下宇賀治奉天支店次長は錦州、壺蘆島地方視察中であるが歸來を待つて錦州一圓の貸出地域の擴張方を當局へ申請する筈である

銑鋼販賣機構改善 日滿商事乘出す

日滿商事直賣以外の全滿一般需要者に對する鐵鋼供給は日滿商事の指定問屋たる銑鐵販賣組合並に鋼材販賣組合を通じ供給を行つてをり、現在の銑鐵組合は鞍山の三問屋、鋼材組合は大連の十一問屋を以て結成され、それ／＼各地に販賣所を設置し全滿配給の圓滑化を期してゐるので從來の如く銑鋼とも需要少き場合は此の販賣機構による需要者にさしたる不便を與へることもなかつたが、最近一段需要も增加、銑鐵三萬キロトン、鋼材一萬キロトンの需要を示すに至り、奧地大口需要者では各地販賣所相手では供給を受けるに甚しく不便を感じるにいたつた

このため日滿商事では現在の大連、鞍山兩地中心の組合を分割、各地市場別に販賣組合を設置することになり、目下關係當局で具體案を研究中である、右によると鋼材は大連、奉天、新京、哈爾濱、牡丹江等、銑鐵は奉天、鞍山、新京等の各地に販賣組合を設置することになり近く實現を見る筈で全滿銑鋼販賣はより圓滑化……

……するものと期待される

尙日滿商事では鋼材販賣價格統制の建前より去る四月鐵鋼類の統制法實施以前に滿人商人の購入した鋼材が現在日滿商事の統制の網を潛つて公定價格キロトン百八十五圓が四百圓―五百圓で賣買され販賣價格の統制を紊してゐるに鑑み、此の種滿商ストックの强制買上げを斷行することになつたが、その數量は現在は著しく減少し哈爾濱方面の約千五百キロトンその他を合し二千餘キロトンと見られてゐる

奉天市內三局の營業稅納稅成績良好

奉天稅務監督署管下中奉天市內三稅捐局における康德五年度第一期營業稅納稅成績は納期たる六月卅日まで查定額の約三十九萬二千圓に對し約三十七萬八千圓が收納濟みで大和局九五％、鐵西局日本人側九九％、滿人側一〇〇％、城內局は日本人側九六％、滿人側九八％といふ誇るべき好成績で半期後の納入を合すれば納稅成績は九八％に達する見込で納稅者側の稅に對する認識が深められたことゝ事變下における國民精神の緊張振りを示してゐる

修好經濟使節團正式發令

定例國務院會議は四日午後二時より國務院會議室で開催され曩に銓衡委員會で人選を了した修好經濟使節團一行の顏觸れにつき報告あり、これを可決したので張總理は直ちに宮內府に參內、皇帝陛下に上奏御裁可を仰いだ、仍つて政府では四日附を以て正式に發令したが、正副團長以下團員の顏觸れは旣報の如くである

朝鮮郵船浦鹽に駐在員

【京城國通】ウラジオにおける朝鮮郵船の營業は從來商船組に依囑してゐたが、本航路の重要性に鑑み朝鮮郵船では豫て同地駐在員設置方につき外務省を通じソ聯當局に折衝中のところ、この程駐在員に對する查證が到着したので愈々駐在員を設定することになつた

商況欄 五日前場

▲海外經濟電報

倫敦金塊	[illegible]
紐育金塊	[illegible]
倫敦銀塊	[illegible]
同先現	[illegible]
紐育銀塊	[illegible]
孟買銀塊	[illegible]

▲紐育株 休

▲市俄古小麥 休

▲紐育棉花 獨立祭休會

▲印棉 ブローチ、オームラ、ベンゴール [illegible]

▲カルカッタ麻袋 [illegible]

▲外國爲替 米英爲替、米巴爲替、英日爲替、英支爲替、英佛爲替、印日爲替 [illegible]（獨立祭で休會す）

▲滿洲中銀爲替 [illegible]

▲阪神爲替 [illegible]

▲各地株式市況

▲東京株式（短期） [illegible]

▲大阪株式（短期） [illegible]

▲大連株式（短期） [illegible]

▲各地商品市況

▲大阪綿糸 [illegible]

▲大阪棉花 [illegible]

▲大阪期米 [illegible]

▲横濱生糸 [illegible]

▲各地特產市況

▲新京 [illegible]

▲大連 大豆、豆粕、豆油 [illegible]

戰時小說

敵前銃後（六十七）

（無斷上演禁）山岡弘 作　木原芳樹 畫

白襷隊（五）

通州で見せつけられた、あの暴虐――鬼畜以上の悪魔の所業と云ふより外に、云ひやうのない悪虐無慘の大虐殺――全く抵抗力のない女小供をまで、その良人、その親の見てゐる前で、撲り殺し、刺し殺し、射ち殺した揚句、最後にその良人も、その親も、何十人となく並べて置いて一齊に銃殺した程の、あの悪魔の慘虐さを思ひ出すにつけても、何んでもかでも自分は最前線に立つて、みじめに殺された人々の仇を討たなければならないのだ！

怨んでも怨み足りない、憤つても憤り足りない、あの鬼畜、あの悪魔に對して、日本人の怨み、日本人の憤りがどれ程であるかを思ひ知らせてやらなければこの腕がをさまらない。

上海結構である。海軍の陸戰隊が、寡兵よく大敵に當り今日まで持ちこたへて來てゐる上海である。國際都市上海である。華々しい戰爭の出來る上海である。獨り支那人にばかりでなく、世界各國の人々に日本人の決死報國の剛勇さを實地に視せることの出來る上海である。

北支よりも上海の方がどれ程よいか判らない。自分はどうして斯うも廻り合せの好い幸福に惠まれるのか。

華々しい初陣の功名！ それを上海でこの汐見加壽夫が獲得するのだ！

それには、生命を眞ッ先に投げ出さなければならない。それは素より望むところである。

陸兵としての第一歩を上海に印して、そこに肉彈散華さして華々しく散つて行く汐見加壽夫の名譽、あゝ何んとも云へない日本人の誇りだ！ 血が湧く！ 肉が躍る！

『是非とも、白襷隊の中へお加へ下さい、死を決してのお願ひです、若し御聞き入れ下さいませんければ、すぐこの場で割腹自殺いたします、どうぞ汐見を犬死させないで下さい、嘆願致します！』

と、汐見加壽夫は白襷隊の隊長に嘆願した。

面にあふるゝその熱誠は、部隊長の認むるところとなつて、彼は白襷隊七十人の中一人として、上海の敵前上陸隊の先頭部隊としての決死隊に加はることが出來たのだつた。

斯くして彼は、所定の岸壁に横着けになつた小汽艇から飛び降りると、咫尺も辨ぜぬ黑闇々たる岸壁に攀ぢ登つて頑强に抵抗する敵の防禦陣地の眞ッ只中へ、突進また突進して、闇黑の中に銃劍をキラリ／＼と光らせた。

小銃は釣瓶射ちにされる。迫擊砲は亂射亂擊される。手榴彈は投げ付けられる。地雷は爆發する。

これこそ、文字通りの激戰である。

闇黑の中に、敵彈雨飛の中に、敵陣目がけて突き込み、突ッ込む、決死白襷隊の中には、バタリ／＼と倒れる者が續く、續く！

『や、やられた、殘念！ ウーム』

『う、う、無念だ！ 天皇陛下ーバ、バンー！』

『や、やりやアがつたナ、ウー、君が、代は、ち、ちー！』

一旦倒れても、また再び起ち上らうとする剛勇さ、忠烈さ。ではあるが再び倒れるとそのまゝ息は絶えるのであつた。

その戰友の屍に、敬禮する暇もなく、白襷隊はその屍を踏み越え、乘り越え、死も物かは、射たば射て！ とばかり、先を爭うて突擊する姿、それが誰だか判りやうもない。

その中に加はつて、常に眞ッ先に突進する汐見は、果して何うしたか？

東京・本郷・神誠館　七月六日 水曜 己亥 友引 九紫 執 壁宿

●一白の人 迷ひの淵に沈むよりも氣を晴々と持つべし 壬と癸と丑が吉

●二黑の人 行違ひ爭ひの生じ易き日 普請旅行等にも凶 甲と丙と壬が吉

●三碧の人 目上の引立はあれど同僚の感情は惡しき日 丁と庚と丑が吉

●四綠の人 小石も積めば末遂に山となる勉むるが專一 庚と癸と丑が吉

●五黃の人 內外多端にして且つ冗費多き日警戒すべし 巽と壬と癸が吉

●六白の人 慈善は人の爲ならず自ら後日に報らるべし 甲と丁と癸が吉

●七赤の人 人の言を能く嚙み分け取捨應否を決すべし 丙と丁と癸が吉

●八白の人 心を動かされ易し相談事は後日に讓るべし 乙と丙と丁が吉

●九紫の人 競爭的に出づる時は思はぬ失敗を招くべし 丁と辛と丑が吉

第三種郵便物認可 大正九年十二月十四日

新京日日新聞 朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓　郵稅共一ケ月壹圓五拾錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話　編輯局專用(3)三二〇五　營業局專用(3)三二〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

日滿伊貿易協定並びに滿伊通商航海條約に　調印完了

【東京國通】日滿伊通商協定締結に關しては四日三國間に完全なる意見の一致を見た結果、五日滿伊通商航海條約、日滿伊貿易協定の二つにわけてそれ〴〵調印を行ふことになり、滿伊條約については午前十一時在京滿洲國大使館に於て滿洲國側阮駐日大使、原參書官、葉書記官、加藤財務官、藤森秘書官、イタリー側經濟使節團長コンテイ伯、アウリッチ駐日大使外六名出席、又日滿伊協定については午後三時外相官邸に於て右代表の外日本側より宇垣外相、堀內次官、松島通商、三谷條約、井上歐亞三局長等出席し各調印を完了した

滿洲國大使館發表

【東京國通】滿伊間通商修好條約調印に關し滿洲國大使館では五日左の如き滿伊協定のコムミユニケを發表した

イタリー經濟使節團到着以來新京および東京において行はれたる滿伊兩國代表間の交涉は滿足すべき結果に到達したるをもつて兩國特命全權委員たる駐日滿洲國特命全權大使阮振鐸閣下とイタリー經濟使節團長たるコンテイ閣下は本日在京滿洲國大使館に於て滿洲國およびイタリー國間修好通商航海條約に署名調印を了せり

本條約は兩國間の友交親善關係をより鞏固ならしめ且つ相互間の通商關係をます〳〵發展せしめることを目的とする基本條約なり、昨年末イタリー國が歐米の諸列强に率先して滿洲國の正式承認をなしてより以來、滿伊兩國間に存在したる緊密にして最も友誼的關係が本條約により一層明確に且つ鞏固にせられたることは滿伊兩國のため寔に慶賀に堪へざるところなり

外務省情報部發表

【東京國通】日滿伊三國貿易協定に關し外務省では五日午後左の如き情報部發表をなした

五月初旬イタリー國經濟使節團來訪以來日滿伊三國代表間に鋭意折衝を重ねたる結果宇垣外務大臣、阮滿洲國大使及びコンテイ團長は五日外務省に於てイタリー國政府、日本國政府及び滿洲國政府間の協定調印を完了したり、本協定の目的とするところは一方においては日滿兩國と他方においてイタリー國との間の貿易を增進し、且つ均衡を圖るにある、イタリー國經濟使節團は短期間の滯在中日本と滿洲國を往訪したるため東京において行はれたる本件の交涉は極めて短時日間において行はれたが、當事者の熱意と三國間に存する友交關係に對する相互の深き認識とは終始協調と互讓の精神となりて現はれ遂に協定の締結を見るに至れり今後本協定の實施による相互の經濟關係はます〳〵緊密となり三國の親善關係は愈々敦厚を加ふべきを信ず

伏見軍令部總長宮殿下御祝電

【東京國通】伏見軍令部總長宮殿下には四日の南昌における空中戰の赫々たる戰果を嘉せられ、五日正午及川支那方面艦隊司令長官に對し左の如き御祝電を御發送遊ばされた

敵空軍主力を擊破せる南昌上空の大成功を祝す

五相會議

【東京國通】五相會議は五日午前十時半開會、池田藏相より國際貸借につき報告をなし、次いで宇垣外相より日滿伊通商協定の說明あり、板垣陸相よりリュシコフ大將事件に就て簡單なる報告をなし午後零時十分散會

張總理聲明

滿伊修好通商航海條約並に日滿伊貿易協定の締結に當り張國務總理は左の聲明書を發表した

コンテイ大使を團長とするイタリー國經濟使節團の日滿兩國來訪を機會に開始せられた滿伊間修好通商航海條約及び日滿兩國を一方とし、イタリー國を他方とする貿易協定の締結方に關する交涉は互讓妥協の精神を基調として約二ケ月に亘りて繼續せられたのであるが、本七月五日東京に於て右兩者共正式に調印を見るに至つたのは誠に慶賀すべき次第である、而して前者は滿伊間國交及び領事關係に關する事項並に通商航海に關する基本的原則を規定したるものにして、後者は日滿對伊間に貿易を調整增進せんことを目的とするものである、抑もイタリー國は極東における現下の事態を克く認識し客年十一月列强に率先してわが滿洲國を承認したのであるが、其結果頓に增進せられた滿伊兩國間の親善關係は公使の交換、ファシスト親善使節團の來訪等により着々具現せられつゝあり、而して斯る親善友好關係に永續的基礎を置き併せて兩國間經濟的提携を彌々密にせんとするものが即ち今次の修好通商航海條約にして又經濟的提携の具體的表現が日滿伊三國間貿易協定となつた次第である、期くて防共の大義に沿ひ堅く提携したる日滿伊三國間の政治的經濟的接近は彌々緊密の度を加ふべく更に近々滿洲國との間に正式國交の開始を期待せらるゝドイツを交へ國際正義と平和の要因は茲に强化せらるゝに至つたことは世界平和の爲にも眞に喜ぶべきことである、なほ今回の條約及び協定の成立に異常なる努力を致されたるコンテイ大使を始めイタリー經濟使節團員各位の御盡力に對し余は滿洲國政府の名に於て深甚なる謝意を表するものである

滿伊關係面目を一新

五日東京において正式調印を見た日滿伊三國貿易協定の特異點は既報の如く日滿兩國が伊太利を相手とする、その取引總額は一億五千萬リラ、邦貨に換算して約三千萬圓である、而して右協定に基く滿洲國の對伊貿易は輸出二千四百萬圓、輸入千二百萬圓差引千二百萬圓の出超となるので滿洲國としては出超額だけ爲替資金を取得しうることゝなり國際收支是正に寄與するところ多大なるものがある

大同元年より康德四年迄最近五ケ年間における滿洲國の對伊貿易平均額は輸出二百五十二萬三千圓、輸入八十五萬九千圓に過ぎず滿洲國の對外貿易の國際的分散度より見れば對伊貿易依存度は極めて稀薄で總額中に占める割合も昭和九年度を最高とする輸出が僅か一%で輸入も昭和十一年度の〇・二%に止つてゐるに過ぎない狀態であつたが、右協定成立により兩國貿易關係は面目を一新することゝならう

支那海軍今や潰滅
湖口喪失の影響絶大

【南京五日發國通】蔣介石軍が文字通り二重三重の防備を施した湖口要塞も、皇軍の作戰開始以來僅か十日間の短時日をもつてつひに陷落した、かくてわが軍は江南において徽州、廣德方面に蟠居する敵を鄱陽湖東北方よりその背後を脅威し、また江北に於て潛山方面の敵はわが軍に挾擊される運命に直面するに至つた、なほ鄱陽湖に遁弋する支那第二艦隊も湖上において其通路を閉鎖され袋の中の鼠となり、わが軍は敵空軍の根據地たる南昌迄僅か百卅キロの北方にあり、今次の湖口攻略が蔣介石軍に與へた有形無形の影響は絶大なものがある▼【南京五日發國通】皇軍の湖口占領により肝腎の軍艦を日本軍のため殆んど全部喪ひ今は陸戰部隊と化した支那海軍殘存部隊は一部は九江上流へ、一部は鄱陽湖へと逼入全く支離滅裂の狀態であるが、この建直しに腐心した蔣介石は今般新たに王樹廷麾下の魚雷遊擊隊を組織し、外國から多數の最新式高速度艇を購入して、外人教官指導の下に魚雷使用の猛訓練を行ひつゝあり、これによつて九江上流に江上ゲリラ戰を展開して漢口最後の防備を固めんと躍起となつてゐるがこれも結局はわが海軍のため擊碎される運命にあり、蔣政權海軍は今や潰滅の一途を辿つて斷末魔の足掻きを續けつゝある

【上海五日發國通】艦隊報道部發表

艦隊報道部五日午前十時發表＝六月十三日安慶攻略完成するや揚子江々上進攻部隊は直ちに上流水路を掃海掃蕩し遡江進擊を開始せり、而して連日敵の敷設せる機雷を處分し一步〳〵確固たる前進を續け各部隊の極めて緊密なる支援の下に兩岸に連鎖する敵陣地を猛攻猛擊し陸軍進擊部隊と緊密なる連絡を保持しつゝ進擊せり、この間敵攻擊機の連日の如き來襲はその都度擊退これに多大の損害を與へ、また敵陣地よりの突發的砲擊を反擊制壓し殆んど全部を潰滅せしめたり、本進擊作戰中幾多英靈を揚子江中に葬りたるも水底の屍を越え敵を擊攘、一路進擊を續け陸軍部隊の揚陸を大成功裡に完了し古來長江隨一の要塞として今また特別防衞を行ひ敵のもつとも恃める馬當鎭閉塞も六月廿九日極めて短時間のうちに驚異的成功をもつて啓開を完了せり、爾後一氣に猛進を續け遂に四日湖口に進出せり、本進攻戰においては敵機雷原を强硬突破せること六個所、處分せる機雷數實に二百五十六個に達せり、今や江上艦艇は揚子江上四百四十浬を制壓確保し陸海軍の渾然一體となれる進擊攻略に歷史的記錄を劃せり、わが海軍江上ならびに航空部隊將兵は湖口占領の歡喜に過去數週間の勞苦を忘れ士氣いよ〳〵旺盛、更に潑剌として進攻作戰を續けつゝあり

【上海五日發國通】艦隊報道部五日正午發表＝昨四日揚子江遡江部隊は馬當鎭上流地區における機雷原を清掃、兩岸敵陣地を制壓しつゝ進擊を續け一部は夕刻迄湖口附近に進出せり、海軍航空部隊は南昌大空襲を決行、敵機五十四機を擊墜、爆破したるほか海軍遡江部隊、陸軍進擊部隊に協力、敵陣地、集團部隊を各所で爆擊し、また小林大尉の率ゐる航空部隊は廻家鎭砲臺を爆擊その一部を爆破せり

空軍の再建も絶望
漢口一帶わが制壓下へ

【上海五日發國通】四日のわが海の荒鷲群の南昌大空襲により再建支那空軍は精鋭主力の三分の一を喪失し、四月廿九日五十機擊墜の漢口大空襲以來四回にわたるわが猛襲に徹底的に因擬され、漢口防衞の第一線から敗退の運命に逢着しつゝある、支那空軍は漢口防禦第一線根據地を南昌、吉安、衡州及び漢口、孝感、宜昌、襄陽等におきしば〳〵わが遡江部隊を空襲すると共に、われを邀擊しつゝあつたが、今回の南昌大空襲にその最大根據地の精鋭機は完全にわが翼下に制壓され、漢口一帶の制空權はわが手に歸したのである、確實なる情報によれば、支那空軍豫備軍は廣東省の南雄、四川省の成都、廣西省桂林と漸次南下を續け最近は四川、貴州、廣西各省に飛行場を開設中であるといはれてゐる、また北方陝西省の西安、甘粛省蘭州には飛行場新設及び急設の航空學校が設けられ、ソ聯航空教官の手で速成飛行士の養成が企てられソ聯機の大量輸入を行つてゐるが、わが間斷なき空襲により折角の努力も水泡に歸し支那空軍の再建は全く絶望に陷つてゐる、かくて漢口攻略の曉には甘粛、陝西、湖北、江西、四川、貴州、廣東はわが荒鷲隊の自由な行動範圍に入ることゝなり、支那空軍は全くその影を潛むべく、また空の赤色ルート建設に狂奔するソ聯の策動も徒勞に歸するものとみられる

黨軍一擧に覆滅
戰ひを求めて決河の勢ひ
士氣昂る中支皇軍

【上海五日發國通】中支軍五日午前十時發表＝七月五日軍は徐州會戰後北方軍と完全なる共同のもとに引續き作戰の步を進め未曾有の霖雨と增水とによる困難を克服しつゝ大要左の如き戰果を擴張せり

一、北方戰線　江北諸兵團はかねて淮陰附近を根據として蠢動しありし徐州戰の敗軍を討滅中なり、當面の敵は匪賊化せるもの多し

二、西部戰線　陸上諸兵團は浸水懸路山岳をものともせず安徽省信陽に向ひ進擊しあり、海軍と共同し揚子江を遡江せる○○兵團は香口より上陸急進して湖口を占領せり、淮南鐵道の修築は驚異的勢力によりすでに巢縣以東を完成せり、當面の敵は士氣沮喪と食料缺乏とにより兵亂多し

三、南方戰線　全線進擊の準備中なり、當面の敵は大動搖しあり

四、飛行兵團　連日不良なる氣象を冒して出動し、敵航空勢力に蘇生の遑を與へざるとゝもに陸上諸兵團の作戰に協力しつゝあり、敵の空軍勢力は萎縮の極にあり

これを要するに敵はなほ相當の大兵を擁し强いて抗戰を宣傳すといへどもこれ鈴を盜みて耳を掩ふのたぐひにしてすでに連續敗戰の痛苦を滿喫せる事實は斷じてこれを欺くに由なし、しかのみならず再三河川氾濫の暴擧を敢へてし民心頓みに離反す、宜べなるかな、最近その軍隊は紀律頽廢、戰意喪失して所在に兵變暴行を生じ治官またしきりに逃亡するの事例はこれを覆ふべくもあらず、わが軍各般にわたりてます〳〵充實し將兵は事變勃發一周年を迎へて士氣ます〳〵旺盛、悪疫をもつて冒すあたはず、遊擊をもつて阻むあたはず、敢へて速かに大期會戰を求めて黨軍を一擧に覆滅し、一七直ちに蔣介石、抗日將領等の頭に加へんと勇躍決河の勢これを抑制し難きものあり

獨軍事顧問引揚ぐ

【上海五日發國通】漢口來電によれば、國民政府の獨逸人軍事顧問フォルケン・ハウゼン將軍以下廿餘名は國民政府側の必死の引留め策動にも拘らず四日朝漢口を離れ香港へ向つた、彼等の行動は獨支間の國交に重大破綻を投げたものだけに頗る注目されてゐたが、國民政府側でも遂に引留め不成功に終り、やむなく蔣介石は餞別を贈り要人は歡送の宴を開いてその勞を犒つた、同顧問等は長きは十年、短くも五年以上勤務し、支那軍隊の近代的訓練編制等に甚大なる貢獻をなしたもので、事實上の支那軍建設をなしとげたものといはれてゐる、今回の支那事變に際しても支那軍の最高作戰、陣地構築、軍隊配備等すべて彼等の指導によつてなされたもので、今彼等の引揚げに遭ふことは支那軍にとつて最高の智囊を失ひ、爾後作戰訓練等に極めて重大なる支障を來すことゝなつた、なほ國民政府は獨逸人に代るソ聯人及びフランス人顧問を招聘しつゝあるが、徹底的に獨逸人に訓練された支那軍隊の訓練はこれを俄かに改編することは殆ど不可能とされ、根本的な困難に遭遇してゐるといはれてゐる

南昌への道路を破壞
皇軍猛追擊阻止

【安慶五日發國通】湖口方面より鄱陽湖西南に沿ひ南昌に至る道路面は敵のため殆んど五十米おき位の間隔をもつて無數の壕によつてぎざ〳〵に刻まれ、しかも五本目位の割合で壕にはクリークの如く水が引込まれてゐることが空中偵察により判明した、これは漢口進擊の意氣物凄い皇軍が當然その空軍據點南昌を衝くべきことを極度に恐れ、早くも大規模の道路破壞をもつて皇軍の進擊を阻止せんためのものである

四日の南昌空襲
五十四機を擊破す

【上海五日發國通】艦隊報道部發表＝四日南昌舊飛行場攻擊部隊は地上三機を爆破、內二機を炎上せしめたり、かくてわが南昌大空襲は計五十四機を擊破せり

陸軍航空隊
洛陽猛爆

【北京五日發國通】陸軍飛行隊中園、仁井兩部隊は相呼應して四日朝洛陽市街の軍事施設及び總司令部に猛爆を加へ敵を震撼せしめた、なほ山瀬部隊は垣曲その他山西南部に蠢動する敵を爆擊何れも多大の損害を與へた

佛の西沙島占領
蔣默認の上

【香港五日發國通】フランス海軍の西沙島占領說に關し、當地では右は豫てナジヤール佛大使、蔣介石間に或る種の諒解成立して居り、フランスの蔣政權援助の代償として同島の占領を默認することゝなつたものとの觀測が行はれ、蔣介石窮餘の一策は今後如何なるものがとび出さぬとも限らぬと見てゐる

國力戰遂行
陸相決意披瀝

【東京國通】五日の定例閣議は五相會議散會後首相官邸で開催、前回までに物資動員をはじめ消費節約、勞務調整、總動員法運用など差當り國內の戰時體制の總動員法を實現すべき緊急措置を決定、既にこれを實行に移し來つたので五日の會合では今次事變を繞る對外問題の處理に重點をおいて審議が進められた、席上板垣陸相は

蔣介石政權を相手とせざる帝國不動の方針に則りあくまでもこれが打倒に邁進、蔣の存在する限り絶對に和平を講ずべきにあらずとの牢固たる陸軍側の決意を披瀝し、更にこれが目的貫徹のためには長期建設の覺悟をもつていはゆる國力戰を完全に遂行する決意である

旨を述べ各相もこの根本方策を確認これが具體化について種々意見の交換が行はれ特に最も手近の問題たる對支中央機關の構成問題をはじめ政治經濟の建設工作についても重要審議が進められた

參議府會議

定例參議府會議は五日午前十時から開催第卅回國務院會議で可決された株式會社滿洲映畫協會法中改正の件を通過したが、七日公布される豫定である

植田傳道廳長等 國軍傷病兵慰問

天理教滿洲傳道廳長植田五郎氏外五名は五日午後三時半新京治安部病院を訪問、入院患者を慰問し慰問品を贈呈して辭去した

關口副總監入院

首都警察廳副總監關口保氏は五日午前猩紅熱と決定、千早病院に隔離された

首都警察搜查股長

首都警察廳司法科搜查股長に大經路署から榮轉の島貫茂雄氏は五日挨拶に來社

人事往來

▲佐久間章氏（滿洲石油）五日來京ヤマトホテル
▲外山益雄氏（飼料配給組合）同
▲相良三介氏（滿洲洋灰）同
▲三輪醇一郎氏（會社員）同
▲笹本貢氏（拓務省官吏）同中央ホテル
▲伊藤由一氏（會社員）同
▲後藤一雄氏（同）同國都ホテル
▲上野巳代治氏（三菱商事）同
▲長谷俊雄氏（平鹿商會）同
▲小林直道氏（日本ゴム）同
▲吉井恒雄氏（王子製毛）同
▲古田統三氏（會社員）同

偶語

〃我等の大空は我等の手で〃と警鐘を亂打してゐるのに馬耳東風に聞き流す者の多いのはどうしたことか▼空襲の慘禍はこの世の生地獄であることは歐洲大戰に於てはたまた今次支那事變によつて普く知れ亘つてゐる筈であるが自分から進んで防空施設をなさうとするものゝ少いことはどうしたことか▼お互が防空準備をなし防空施設をなすことは單に自己一人のことではなく大きくは一都市一國のための重大問題である▼從來數度の防空演習成績から見ると一部市民のあまりにも公德心のなきため相當莫大な費用を投じ多大の犧牲を拂つて擧行する演習が何の役にも立たない結果に終つてゐる▼近く實施される本年度防空演習には今までの不認識を改め最も效果的ならしめるため不履行者には本年初めて公布された防衞法をもつて嚴罰に處する當局の方針である▼我々在滿者は法の制裁をうけるまでもなく國民の義務として進んで萬全の準備を整へることを忘れてはならぬ

社説　ソ聯邦の支那觀

ソ聯が支那をいかに見てゐるか、これはわれ〳〵としても注意し置くべき問題であらう。今次事變發生以前から、ソ聯は實に支那がすでに單一國家たる形態を喪失したものとして、すなはちいはゆる邊境地方に對する觀念といはゆる支那本土に對する觀念とは全然別個のものであるとの建前を取つて來たものなのである。この事は政治的見解からもさう結論されるが、また經濟的に見てもそれが充分妥當であると考へて來たのである。曾つて發表されたソ蒙相互援助條約の如き、ソ聯は外蒙に對する支那の宗主權を依然として認めるものであるとはしてゐるが、明確にソ聯の對支觀念の單一でないことを證明したものであつた。更に新疆の如き、そのソ聯との關係を規定するやうな條約等は公表されてゐないが、それは外蒙の場合の如く公表を必要とする程事態が切迫して居ないといふからのことだけに過ぎず、ソ聯の新疆工作は隱れもない事實なのである。

ソ聯の對支觀、それを知るためにはソ聯の世界政策を知らねばならぬ。ソ聯はあくまでも世界革命の方策を持してゐる。たゞそれを一氣に押切るだけの力を持たないのである。從つてその立場は資本主義諸國の利益と尖鋭に對立しつゝも、或る程度これとの共存を圖らざるを得ない。斯くてこゝに必然的にソ聯の對外政策には二重性が附加されてゐるのである。コミンテルンは曾つて決議して「植民地及び半植民地におけるコンミユニストの最重要な使命は反帝國主義的人民戰線を作ることである」と言つてゐる。支那はそしてまさしく半植民地と規定されたのである。諸列強とソ聯式外交を行ひつゝ、ソ聯は一方に支那を自己の政策實行のための絶好の溫床としたのである。注目すべきは、この支那における共産主義運動を反帝國主義的國民運動特に日本を目標とした國民運動に結合せしむべしとした點であつた。これによつてわれわれは、事變發生以來の國共合作の眞相を把握することが出來る。曾つてあれ程に相鬪つた二つの黨派が軍事、政治の各面においてよくあれだけの協力をなしたその理由を理解することが出來る。

ソ支國交の恢復が行はれたのは一九三二年末であつた。それはソ聯の立場から言へば全く政治的意圖に出たものであつた。日本によつて脅威を感じた兩國がそれ〳〵自國の利益を念頭に置いて相結んだのである。しかもソ聯は一方に依然支那共産黨をコミンテルンの名において操縱することを怠らなかつた。だが事變進展の實狀はソ聯の描いた幻影を破り去つた。今やソ聯はその支那觀を改める必要に迫られてゐることが想像出來るのである。

十重廿重の閉塞線を　遡江部隊見事啓開

濁流を衝いて湖口を收む

【南京五日發國通】六月十三日陸軍と協力して安慶を占領した海軍遡江部隊は息吐く暇もなく翌十四日には早くも安慶上流十五浬に進出したが、連日の降雨に揚子江は日一日と増水し廿日には既に安慶、南京間に於て昭和六年の洪水時の水量に達し、江域一面に氾濫し濁流は奔馬の如く滔々と渦卷いてゐる、この激流を冒し、江上隙間もなく沈置された無數の機雷を處分し、更に敵の空襲と江岸に連鎖する陣地、トーチカ、砲臺などの砲銃撃を浴びつゝ敢然これを撃壞し水陸相打つて一丸となり只管進撃の一途を辿つたのである、かくて廿九日には敵が鐵壁の防禦を誇つた馬當鎭閉塞線を見事に啓開、驚異的戰果を收め一路湖口に迫つたのである、江中掃海閉塞線の啓開は難事中の難事とされ今次の如き敵前掃海閉塞線の啓開は世界戰史上稀有の戰績と云ふべく敵が半歳の日月とその蘊蓄を傾倒して自他共に誇つた馬當鎭閉塞線を僅々數時間にして突破した技術と耐力に至つては日本海軍にして初めてなし得るもので、輝かしき效果といはねばならぬと共に陸海空三位一體眞に完備せる共同作戰の賜である、かくして揚子江四百四十浬、上海湖口間の江上を制壓したのであつて、今次進攻作戰の處分機雷は六月卅日現在までに二百七個に達し而も使用艦艇は補助小艦船または艦載艇その他極めて不備不整の假裝機材を以ての難事を敢行した力戰苦鬪は言語に絶するものがある、支那軍が如何に防禦に狂奔しても我軍の向ふ所鎧袖一觸である、作戰の計畫大要左の如し

△六月十四日(雨)進攻部隊は早くも安慶上流十五浬に進出

△十六日(雨)航空隊の數十機は馬當鎭、香口、東流島所在の敵陣地砲臺攻撃

△十七日(雨)作戰地域一帶東流下流において機雷十一個を處分すると共に機雷原を發見兩岸の敵を爆撃す、航空部隊は馬當鎭陣地を爆撃、江上部隊の一部は陸軍に協力荻港攻略を終る

△十八日(雨)東流下流において機雷七個を發見處分、前進部隊は附近兩岸の敵陣を攻撃し、航空隊また上空よりこれと協力、更に馬當鎭陣地を爆撃多大の損害を與ふ

△十九日(雨)處分機雷十四個、艦隊は掃海作業を掩護し砲門を開き掃海地區兩岸に砲火をあびせ、空軍またこれに協力して東流、馬當鎭間に新設の敵陣地を反復爆撃す

△二十日(雨)機雷十五個を處分、敵機來襲し追撃せるも遂に逸す我に損害なし

△廿一日(雨)機雷十四個を處分

△廿二日(雨)雨中馬當鎭に敵敷設艦らしき約三百噸の汽船一隻を發見し海軍航空隊は直ちにこれに爆撃擱坐せしむ、一方牌石磯、宗佛山、東流香口方面をも爆撃、處分機雷二十二個

△廿三日(雨)航空部隊は敢然進出、敵陣地集團部隊を爆撃す、掃海部隊は不眠不休の活躍を續行、江上進撃隊の一部進撃す、處分機雷二十二個、航空部隊は彭澤附近にて敷設艦一隻を爆撃す

△廿四日(曇)〇〇部隊の牌石磯下流敵前上陸を掩護協力し、艦艇は牌石磯東方陣地、娘々廟方面敵砲臺と猛烈なる激戰を演じ、陸戰隊の一部を以て牌石磯に敵前上陸を敢行、完全に敵を撃攘す、航空部隊は江上部隊に協力し娘々廟、彭澤馬當鎭を爆撃し、潰滅的打撃を與へた、處分機雷七個

△廿五日　敵機の來襲と右岸砲臺の砲撃を受けつゝこれを制壓す、機雷七個を處分すると共に娘々廟東方高地要塞砲と交戰し沈默せしむ、航空部隊は彭澤、馬當鎭および華陽鎭一帶の敵陣地を爆撃し大損害を與へたり

△廿六日　本日機雷七個を處分　本日までの處分機雷は累計百四十五個に達す江上および航空部隊は陸軍に協力し馬當鎭南西方面の敵および彭澤を攻撃、敵陣地密集部隊に徹底的損害を與ふ

△廿八日　處分機雷三十二個、航空部隊は大擧南昌空襲を決行せるも敵影なく攻撃隊は悠々飛行場に爆彈の雨を降らし飛行機三機を爆破、城內施設に大損害を與へ、安慶上空に於ては重爆撃機及び偵察機一機を撃墜す

△廿九日　馬當鎭閉塞線を啓開掃蕩して上流に進出江上隊は娘々廟、宗佛山、白石磯方面の敵を攻撃すると共に陸軍の彭澤、香山占領を掩護し航空部隊は敵敷設艦を爆撃、處分機雷十三個

△三十日　陸軍部隊は娘々廟砲臺を占領、十二サンチ砲、大型機銃數挺を鹵獲航空部隊は彭澤附近にて密集部隊を爆撃、處分機雷十六個

△七月一日　數回に亘り敵機來襲あり、この中一機を撃墜、わが航空部隊は陸軍部隊と協力前面の敵陣地を爆撃せる他湖口を爆撃、多大の損害を與へたり、江上作戰の敵艦艇を爆撃、處分機雷十七個

△二日　馬當鎭閉塞線を越え終日上流の掃海を行ふ、處分機雷十七個、來襲の敵機中一機を撃墜、湖口方面を爆撃　武穴附近の敵艦隊を爆撃

△三日　馬當鎭上流に進出せる部隊は全航路を掃海す、處分雷機十四個、武穴附近において敵砲艦一隻を撃破

兩岸の敵陣を制壓　皇軍、六十浬を進攻

血漿もつて湖口を屠る

【南京五日發國通】奔流する濁流に抗し漢口防禦の要衝湖口へ驀進したわが海軍遡江部隊の十九日間六十浬にわたる

戰鬪

は酸苦と血飛沫の尊き記録であつた、六月中は密雲に閉され連日にわたる降雨のため揚子江は五ノット以上の奔馬の如き激流と化し六月廿日には既に昭和六年大洪水の水量に達し江岸一面の大氾濫となつたこの濁流に抗しわが海軍遡江部隊は六月十四日安慶上流十五浬の江岸を奪取、江上隙間なく敷設された無數の機雷を排除しつゝ、又敵機必死の空襲を邀撃、狹隘なる江岸から猛射を注ぐ敵トーチカ砲台を撃滅し密雲豪雨を潜つて援護する航空部隊の協力下に洵に舌筆に盡しがたき辛苦をなめ一歩一歩力強き進撃は續けられたのであつた、斯くて東流砲台を粉碎、香口、馬當鎭間兩岸トーチカを虱潰しに撃破、馬當鎭前面の二つの中洲を結ぶ敵が半歳の工作と漢口防衛の全力を傾けて敷設したブーム閉塞線を廿九日わづか數時間で突破除去し間髪も容れず彭澤砲台を奪取、長驅湖口に迫りつひに漢口の咽喉高く軍艦旗を飜へしたのである、濁水の江中掃海、敵前ブーム啓開作業は難事中の難事とされるものであるが、わが遡江部隊の前には物の數ではなかつた七月三日まで進攻部隊に處分された機雷數は二百五十六個に達し、航空部隊によつて新型機雷敷設艦一、砲艦一を見事に撃沈されたのである、前進部隊、航空部隊及び汽艇員特別作業艇員の陸海空三位一體の完璧せる共同作戰と奉公の精神によつて遡江戰は世界戰史に未曾有の

戰績

を殘したのであつた、湖口、上海間四百四十浬の江面は輝く軍艦旗によつて制された、漢口へ漢口へ遡江部隊の意氣はまさに天を衝いてゐる

三日來の總攻撃で　湖口本陣地潰滅

海陸兩軍堂々入城す

【南京五日發國通】揚子江〇〇部隊は二日早朝彭澤南方に於て敵大部隊の

逆襲

を受けたが、一部をもつて之を反撃痛烈な打撃を與へて撃退當面の敵から相當頑強な抵抗を受けながらわが部隊は一面の火の玉となつて二日正午定山西方の老店に進出、目指す湖口に向け堂々の進軍を起し途中先頭部隊は揚家山の陣地を血祭りにあげ二日午後三時流斯橋のトーチカ陣地に迫撃砲を有する三、四百の敵を撃滅南方に潰走せしめ午後四時陣地を確保したが、部隊は流斯橋に到着後間もなく日沒となるや南方より敵の大逆襲を受けたが一部兵力を以て逆襲の敵に當て主力はこれに構はず進撃を續行しやうとしたが前面の橋梁が徹底的に破壞されてゐるため進撃は捗らず夜に入り山田工兵隊の決死的の作業により何とかして橋梁を造り夜半過ぎ渡河を完了各所に夜間戰鬪を續行しつゝ漸次陣地前に到達三日の拂曉攻撃隊は胡村、陳村、走馬坂鎭南北一里半にわたる陣地を突破茅草山の中間陣地を屠り同日午後三時を期し湖口の本陣地攻撃の火蓋を切つた、日沒前早くも右翼佐藤部隊は梅關山を拔き左翼高橋部隊は湖口東南方一キロの一〇七高地を

占領

し五日午後六時遂に湖口の本陣地を完全に奪取、堂々入城したものである

英國大使に對し　支那悲觀空氣

紐育タイムス漢口電

【ニューヨーク四日發國通】カー駐支英國大使の漢口行は時節柄各方面から注目されてゐるが、四日ニューヨーク・タイムス紙漢口特電は右に關聯して支那側の悲觀的空氣を左の如く報じてゐる

カー英國大使は去る二日香港より漢口に到着したが、消息通間ではカー大使の來漢によつて戰局收拾の期待は少しも起つてゐない、支那側は徐州陷落以來揚子江岸における相つぐ敗戰の結果士氣全く沮喪してゐるが目下のところ蔣政權が日本に媾和を申込む模樣は少しもない、けだし日本の態度が餘り強硬なため日本との媾和は蔣政權の事實上の降服と蔣介石の沒落とを意味するからだ

國民政府の財政　崩壞の一途

=米人ブロッホ氏の論説=

北に蘭封、開封の護を失ひ鄭州亦皇軍の手に陷らんとする時、東長江の岸においてもわが神速作戰部隊のため安徽省首都安慶は一瞬の間に奪ひ去られてしまつた、澎湃として迫る皇軍精鋭部隊のため北と東の第一線陣地を奪はれた蔣介石政府は去る九日又もや漢口を放棄して喪家の犬の如く四川の重慶へ、雲南の昆明へと政府各部バラバラに遁竄軍事委員會又湖南省衡陽に退却を開始するに至つた

□

漢口放棄の當日九日、蔣介石は又もや長文の聲明書を發表例によつて「支那軍並に國民は最後の勝利が支那のものなることを確信しつゝ日本の侵略戰の續く限り抗戰を繼續するその期間は月單位又は年單位では測り得ない」と強がりを放送したがこれが國民政府の地方政權轉落化への捨科白でしかないことは明々白々だされればこそ蔣介石のこの強がりにも拘らず國民政府の崩壞必至と見られて法幣は慘落に次ぐ慘落を續け十日以後終に上海爲替は對英八片臺、對米十八弗臺に落込むに至りしかも前途人氣は益々不安、蔣政權の財政的基礎を大搖りに搖つてゐる、行政院長孔祥熙が漢口に開かれた全國金融會議の席上躍起となつて節約貯蓄と手工業の復興を力説してはゐるが、我空軍の鵬翼下は軍需工業の殆ど全部を壞滅せしめられ抗戰器材の總てを外國に仰がざるを得ない支那がどこまで「長期抗戰」を財政的に支持し得るか米國太平洋問題調査會發行の「ファー・イースタン・サイヴェイ」五月十八日號に於てクルト・ブロッホ氏は「支那戰時財政」の題下に大要次の樣に論じてゐる

□

但し同氏の意見は徐州陷落以前のものである爲めその後の戰局の急進展と之に伴ひ法幣の崩落が考慮に入れられてゐぬ爲に支那側にとつて尠なからず好意的となつてゐるが、併も窮極における財政破綻を論斷せざるを得なくなつてゐることは注目に價するであらう、ブロッホ氏は本問題の考察に當つて先づ支那側に統計的資料の極めて乏しいことを冒頭した後問題を

(一)支那の在外正貨準備
(二)內政費

の二に分けて論じてゐる

一、支那の在外正貨準備

ブロッホ氏は本問題に關し極めて支那に好意的であるが、結局支那側が外國借款に躍起となつてゐることを指摘し、而して外國借款は戰場における勝力なくしては充分なる支持を期待し得ないと逃げ、且つ華僑送金の激減を承認、同時に事變後に現れた出超は特殊なものであるとして次の如く論じてゐる

國民政府の在外正貨は之を明確にするを得ないが一九三四年十月國民政府が銀に對する輸出平衡税を賦課し始めてから三ケ年半其税收は全部爲替平衡資金に繰入れられ更に米支銀協定の結果數字は不明乍ら極めて多額の銀が米國財務省に賣却され、且つその價格が相當市價よりも高く、その差額が又爲替平衡資金に加へられた結果支那側は相當巨額の爲替操作資金を國內銀行の發券準備に手をつけずして爲し得たことに注意されねばならない

但しこの發券準備に手がつけられなかつたといふ點に關しては聊かの疑問があり去る二月衆議院豫算第一分科會に於て、松本外務次官のなした支那側の在外正貨の現在高推算額が多少の修正は必要であるが大體同意し得る、然し支那が抗戰開始以來輸入超過から輸出超過に轉じたことは注目されねばならぬ、元來支那は入超の國である、而してこの國際收支上の赤字を連年補塡して來たものはその數百萬に上る華僑の送金と觀光客の落す金とであつた、所が事變勃發のため觀光客による貿易外收入はバッタリ止り同時に一九三六年には四億元にも上つた華僑送金が激減したにも拘らず之が出超に轉じて支那の抗戰力に若干なり餘裕を與へたのは奇異ともいへる

それは北支並に中支にある開港場のヒンターランドを形成し且つ漢口、廣東と共に人口最も稠密にして從來外國商品乃至原料品を購買してゐた地域が日本軍に占領されてしまつたこと、事變の爲め國民政府治下全民衆が一般に貧困化して外國商品に對する需要を喪失した一方アンチモニー、タングステン、桐油等の支那特産品出廻減の爲め價格暴騰してその金額の關する限り量的な減少を償つて餘りある爲め等々によるもので決して積極的理由によるものでない、從つて抗戰繼續の爲めには外國借款によらざるを得ずそれに必死の努力をなしつゝあることも事實だ、國民政府があの苦戰を續けながら無理にも外債利拂をキチンキチンとして來たのもその爲なのだ、だが所謂戰場における勝利なくしてはこれにも大なる期待をかけることは難かしいであらう

一、內政費問題

ついでブロッホ氏は國民政府內政費の問題に論及、税收の減少は經費の縮減をもつてカヴァーし得るとしても結局紙幣の増發からインフレーションを誘致することは必至であると斷じてゐる

一九三三―四、三四―五、三五―六の三年度において國民政府財政は連年二億圓の赤字を出しその都度內債を銀行に賣付けるといふ手でこれを濟して來たが、抗戰第一年の一九三七年秋日本海軍の沿海封鎖と上海、北支の占領によつて關税收入三億三千萬元の半分乃至三分の一と鹽税の大半を喪失したゝめ國民政府はやむなく五億元の愛國公債を公募しこれをもつて辛うじて税收不足を補つた、と同時に教育費、地方費各種建設事業費の大々的削減が税收不足に基くやりくりに寄與すると見られる、だが併し戰時財政が軍費を中心に膨脹することは到底避け難く之と並行して紙幣の増發は必至であるから之まで國民政府が執り來つた海岸諸都市殊に上海におけるデフレーションを誘致することは火を看るよりも瞭らかであらう

商況欄　五日後場

●大連株式(短期)

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]

●奉天株式

銘柄	寄付	大引
滿取	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]

銘柄	寄付	大引
日産	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同甲	[illegible]	[illegible]
電乙	[illegible]	[illegible]
日書	[illegible]	[illegible]
新郵	[illegible]	[illegible]
電業	[illegible]	[illegible]
化學	[illegible]	[illegible]

手形交換高(五日)　[illegible]

讀者の領分

（投書中傷、誹謗は不掲載）

國民總動員とは何か

私は此頃の小學校教員方に一寸御尋ねして見度いと思ひます、國家非常時とか國民總動員とかずいぶんやかましく叫んで居る時に溫泉、山岳、海水浴樂とは國家非常時を思ふ人で有るかと云へば體育向上法とでもいひ度いでせうが、それならまだ外の方法も有りさうなものだと思ふ、そんな事をよく學校組合又校長として許可する者が有つた事だと思ふ、もし途中にて事故ある、ひは行先歸宅後病氣の原因にでも成つたら學校で責任を持つて下さるでせうかそんな事も出來ないでせう、現今煙草の銀紙は勿論廢物までも粗末にせぬ此時に餘りにも贅澤さ加減が判らない樣に思ひます外の學校のする事と見比べて世評を考へて戴きたい、現在では物價騰貴なれば國家共に非常時は人に知識を敎へる先生方で有れば無事に辯解の餘地は無い筈です、もし體育向上とか健康保養とか云ふかも知れないがそれは只辯解に過ぎない事です（一讀者）

內鮮共助に就いて

普天の下率土の濱、夫れ王土に非ざるは無く皇化に欲せざる所無し

昭和六年九月十八日滿洲事變を契機とし內地朝鮮の融和は愈々親密を加へ內地人は善く鮮人を抱擁し鮮人は內地人の厚誼に深く報いつゝあるのである、殊に今回支那事變の起るや報國の丹心此の秋にありと我等三千萬の同胞が振ひ起つたのは天下萬目の見る所であらう、一度志願兵制度の發せらるや半島津々浦々まで血に燃える青年は競つて應募したのは赤子として忠誠を如實に物語るものではないか更に又本事變に際し北支及南支に奮闘護國の鬼と化し輝かしくも靖國神社に合祀されたる幾多半島人の存するのは半島人の最高榮譽之に過ぐるもの無く一入感激の至りである、長期戰に入る今日前線將兵に適戰道勝はさる事ながら銃後國民の責務はもつて國策に對へ國家をして泰山の安きに置かねばならぬ、今や內地七千萬に半島三千萬合せて一億の人口を有する大日本帝國臣民は打つて一丸となり凡ゆる萬難を排し國力の發展に猛進しなくてはならぬ、そして東洋の開發世界永遠の平和を期すべきにあり況して一德一心の日滿が不可分の重大關係を持つ滿洲の開拓に就ては鮮人の力に負ふ所益々甚大といふべきである故に僕は向後益々內鮮力を合せ所期の目的達成に邁進すべきではないかと敢て大方諸賢に訴ふのである（李東植）

東洋平和建設の基礎
聖戰早や一周年
血鬪の地京津戰場を巡る

【北京五日發國通】蘆溝橋の闇を衝いて一發の銃彈が火矢の樣に走つてから一年、一握りの熱砂を戰場として對峙した日支兩軍第一線は支那側の不法不遜の態度によつて曠野を燒く劫火の如く擴がり今や北はゴビの大砂漠展がる朔北より、南は南洋の怒濤しぶく廈門島におよび國府が死守する漢口陣地は我が空陸の爆煙に蔽はれてわづかに餘喘を保つてゐるに過ぎず、一方更生した新生支那は澎湃たる民望を負つて東洋平和の完成に驀進しつゝある、併しながらこの燦然たる曠野の偉業を築くべく拂はれた犧牲の數々、草を蒸し水を朱に變じて雄々しくも護國の鬼と化した勇士の英靈を慰める北支陸軍部隊の合同慰靈祭は事變發端の七月七日一周年記念をしめして紫禁城の一角大廟で盛大に行はれる事になつた

この日午前九時寺內最高指揮官を始め在京各部隊代表、北支第一線各部隊代表、在京各機關代表に臨時政府、省、市各代表等が參列京都淸水八幡宮副島智一宮司祭主となり神式によつて營まれる、新たな戰友が淚の散華の中に嚴肅裡にも北支の新戰場に一脈の哀愁を湛へて散立する勇士の墓標にも一齊に香華が手向けられその偉勳に對して新たな感謝の淚が注がれるのであらう英魂永へに天に還るの地、今や力強い和平の囁きを聞きつゝも生ひ茂る夏草は徒らに深く、降り灑ぐ七月の陽光は向日の中に血鬪の夢を誘ふが如くである、芭蕉ものする「夏草や兵どもが夢のあと」が胸に泌む事變發生の地京津の地に記者は感慨深い巡禮行を試みた

△一文字山、蘆溝橋「一文字山日支事變發端之地」と墨書した白木の記念碑は一周年の七日、北京居留民會の手で立派な石碑に換へられることになつた、塹壕は大雨に崩れて半ば埋められ、八寶山から衙門口を經て白兵突擊の龍王廟に續く、廿九軍の陣地は濃い陽炎に霞んでゐる、膺懲射擊で望樓を飛ばされた宛平縣城の中には平和が笑ひ、大理石の古橋所謂蘆溝橋は戰の跡も知らぬ氣に陽にやけて沈默してゐる、世界を電擊のやうに打つたその名には餘りにも相應しくない靜寂さがみなぎつてゐる

△西苑　蜿蜒として續る西苑大兵營は我が陸空軍の爆擊の跡も淸掃修理され今は臨時政府が新中國の中堅人材を養成するための青年訓練處になつてゐる、黨軍が抗日の喇叭に踊つたこの兵營が一轉して和平親日の溫床と化したのも皇軍決死の戰鬪の賜でやがて巢立つ青年群が故鄕に歸つて營々建設する「甦生支那」こそ東洋平和の巨大な礎でなければならない

△南苑　坦々たる道路の傍らには楊柳の並木が暑さに喘いでゐる「この邊りの溝には廿九軍兵の屍體が累々として斃れてゐました」と附近の支那人がいつて呉れる廿七日から〇〇部隊が敢行した南苑血戰の跡は餘りにも明るい向日の中に眠つてゐる

△南口、八達嶺　一山一陵これ悉く機關銃座又砲蟲血につぐに血を以て奪取した半月に亙る激戰地は深い緣に包まれ、避暑地南口は皇軍守備の下に爽凉平和の息吹きを呼吸してゐる、麥倉部隊の精銳が肉彈突擊を敢行した南口鎭、坂田支隊が强行軍を以て突破した西長城の深き山々居陽關を拔き殘敵を追ひ散らし遂に八月廿六日八達嶺長城を占據して千田部隊が淚の萬歲を唱へた頂上北門今は蕭々の凉風を浴びて悠久始皇帝以來の歷史を思はせるものがあるのみだが、彼方の谷間此方の溪間を鮮血に彩つて繼けられた山岳死鬪を思へば鬼哭愁々として胸迫り無言の長城を背にして淚滂沱たるを禁じ得ない

瀨戶物を賣る店が南側に並び平和を謳ふ五色旗は夏の微風にはためく、誰か不法の十字火を想ひ、暗い死の蔭を知らう、たゞ樓上城壁に立つ川村通譯の寂しい墓標を見る者のみが無限の悲憤と無量の感慨を想起するのみである

健康相談所
利用者漸增

【京城支局】明朗朝鮮建設の目的で總督府警務局が昨年の春官民の協力を得て創設せる朝鮮結核豫防協會では結核の早期發見を目標として全鮮を通じて四百四十九ヶ所の健康相談所を設置し、一般の相談に應じてゐるが最近では同所設置の趣旨も普く理解されて利用者漸增五月中の取扱件數一萬三千三百八十七件、其他の結核三百二十七件、中肺結核千七十件、合計千三百九十七件に達し、一月以降の取扱件數は三萬八百八件、中結核患者四千百九十八人となつて居り、收容所及び自宅で加療中で今後結核病に對する一般認識の徹底に伴ひ同相談所の利用は增大すべく期待されてゐる

故人の風格偲ぶ
夜起庵弟子記
曾教授に依り上梓

故前總理鄭孝胥氏の全著作を輯錄して近世稀なこの王道學者の所產を後世に傳へやうといふ計畫は既報の如く、國務院囑託の佐藤膽齋氏その他生前鄭氏と親交のあつた人達によつて目論まれてゐるが、これに先立つて今回大同學院教授曾格氏の手で「夜起庵弟子記」といふ鄭氏の風格とその學說を綴つた著書が刊行されることになり各方面からその上梓される日を待たれてゐる「夜起庵」とは夜間早く就寢して未明に起き研究にいそしんだといふ故人獨特の勉學法を諷してゐる鄭氏の號、著者の曾教授は北京から大同學院に招聘されてから三年間、自宅が鄭氏邸に近い關係からよく夜起庵の門をたゝいては教へを乞ひ、故人の人となりや學說に心醉して親交を重ねてゐたが、去る四月鄭氏の訃に逢つてから故人の所說を誤りなく公にしやうといふ譯で稿を起しこの程滿洲行政學界から刊行する運びに至つたものである、なほこの日文のものは大同學院教授松浦嘉三郎氏の譯で出版される

鐵道局配給制服

【京城支局】朝鮮鐵道局現業從事員の十四日度配給制服は早くも準備に着手してゐるが主なるものは制帽一七、〇〇〇個、冬セル地九、〇〇〇着、夏セル地七、〇〇〇着、夏小倉地一二、〇〇〇着、多小倉地一五、〇〇〇着、作業服二七、〇〇〇着、外套四、〇〇〇着其他多數で羅紗服類は三〇％のス・フ混入綿物及び附屬品一切は、率先して純ス・フ製品を使用することゝなりこの總額百萬圓見當の模樣である

西沙島こそは
わが領土
[illegible]平田末治氏

[illegible]西沙島を發見、[illegible]な燐礦が埋藏されてゐることを認めて[illegible]島の開發に從ひ、昭和九年には附近の新南群島に開洋興業[illegible]株式會社を創立すべくその準備のため上京、各方面と折衝中であつたもので、平田氏は語る

私が最初西沙島を發見したのは大正[illegible]年で、[illegible]島にも[illegible]のものが居住、十年間仕事をして[illegible]抗議がなければ當然居住民の國家のものになる」とのお話と香港政廳に交涉した結果、所屬國不明との返事を得て安心して無人島を開拓、大正末期までには早くも百萬噸の燐礦を採集した[illegible]

[illegible]てゐるので昨年十月頃からフランス砲艦マルネ號が附近をうろついて臭いと思つてゐたが果してこの有樣だ自分はわが當局が必ず何等かの處置を執る事を信じて疑はない、西沙島はフランスには何の所有權もなく明南島と共に西沙島占領を宣言したのであるが、わが國の抗議で占領宣言は有耶無耶に終つたのだ、既に新南群島には開洋興業株式會社を創設し西沙島でも昨年十月から大規模な事業を始め近く開洋興業株式會社を創立する事になる、現在二百[illegible]

陸軍の實行豫算節減
約一千萬圓

【東京國通】陸軍省は去月廿三日の閣議で決定した物資の統制消費節約方針に基き今年度實行豫算の節減について調査を進めてゐたが、支那事變費、滿洲事變費ならびに作戰及び教育、訓練に關係するものは節減が出來ないので陸軍省官衙、學校等の建築、修理等の事業の繰延べ、事務費の消費節約によつて節減を行ひその結果總計約一千萬餘圓の節約額を捻出することゝなり五日午後大藏省に提示することになつた

日本の爲
特輯頁
チリの親日新聞

【東京國通】昨年來經濟使節團と大學生見學の來朝でわが國と親交を深めてゐる南米の親日國チリでは、事變以來わが皇軍の赫々たる武勳と銃後の擧國一致の精神に傾倒し親日氣分がとみに旺んになつたが、今回チリ最大の新聞エル・メルクリオ紙が去る四月廿九日の紙上でわが天長節の佳日を奉祝して日本特輯頁をつくり、その日本チリ親善の新聞が二日駐日チリ公使館に屆いた

日比學生會議代表
卅日神戶出帆

【東京國通】政治經濟文化交驩、支那事變說明、フイリッピン獨立土地問題、フイリッピン獨立の奬勵といふ大きな任務を帶びて來月八日より四日間マニラのフイリッピン大學で開催される第二回日比學生會議に出席する學生二十四名は三日正式決定を見たのでいよいよ三十日神戶出帆の高千穗丸で東京商大教授猪谷善一氏、津田英學塾教授藤田たけ女史に引率され渡比する事となつた

北支產業開發促進
地方稅制の改正

【北京四日發國通】中華民國臨時政府は成立以來健全財政主義の下に着々實績を擧げ、その前途は極めて樂觀されるに至つたが、從來支那では課稅の源泉を物品の生產、消費流通過程に仰がざるを得ざる經濟狀態にあつたため間接消費稅が全國稅の九三％餘を占めて來た關係から田賦以外に獨自の財源を持たぬ省財政縣財政においては勢ひ中央稅に對する附加稅が財源となりこの間幾多特別地方稅が賦課され苛斂誅求が行はれてをりこれを放置するにおいては今後綜合的北支產業開發の遂行上幾多の障碍となるので臨時政府では財政の第二段整備工作として近く地方統制改正を企圖し各省縣財政廳ならびに各地統稅分局を督勵調査研究を進めてゐる、改正の重點は地方財政の確立を圖り重複課稅を是正し民衆の負擔を輕減すると共に產業開發上の諸障碍を除去するにあるが、その大要は大體次の如きものとみられてゐる

一、各省、各縣稅額の改革、[illegible]

地通過毎に稅を徵集され、更に天津入市の際は棉花入市稅を負擔し鐵、石炭の如きも鑛產稅條合により地方稅賦課を免除され居るに拘らず大同炭、井陘炭等地元より天津までの間に諸種の名目で一キロ當り一元內外の地方稅を負擔してゐる、之等は一般地方稅の不備に起因するものであるが、左の如きものは廢止する意向で、地方財政の整備確立を圖る

イ、各地方における物品通過稅の如き不公平なる地方稅課稅

ロ、交通を妨害する諸稅

ハ、中央稅に歸納し中央稅の財源を脅かす諸稅

ニ、社會公共の利益を妨害する諸稅

一、各地方の徵稅機關の整備すると共に徵稅請負制度等の不合理なる徵稅手段を改正し地方財政の健全化を圖る

一、稅務員の素質を向上と身分保障のため臨時政府行政部は今般各海關に對し生牛皮、生羊毛、皮乾羊毛皮等の輸出禁止を命じ去る一日から實施したが、引續き近く棉花についても同樣の措置がとられるのではないかと觀測されてゐる、しかしながら以上は主として通貨上の特殊情勢に起因するものであるため新國幣が現在の過渡期の狀態を脫し名實共に北支唯一の通貨として決定されるに至れば早晚解消さるべき暫定的措置に出たものと解される殊に皮革は日本內地において需要あるものでまた棉花に關しても同一に輸出を禁止することは對日關係上にも影響があるので何等かの便法が必要とされるものとみられてゐる

めその待遇を改善すると同時に身分保障制度を確立して惡德の發生を防止し能率の向上を促す

皮革類の輸出禁止
北支貿易管理へ

【北京四日發國通】北支の貿易管理については早くもこの必要が唱へられてゐたが、今般中國臨時政府の皮革類輸出禁止斷行によりいよいよその第一步が踏出されたものとして頗る注目に價する、即ち最近の北支輸出貿易の動向をみると對日輸出がふるはないのに反して第三國及び上海向輸出が旺盛を極めてゐる、これは一見北支の受取勘定增加を示すものとして歡迎されてゐるがその實績においては種々の複雜なファクターを有してゐる、右は日滿支經濟提携の原則に反するのみならず、通貨側よりみれば新國幣の法定相場が一志二片であるのに對し外銀は舊法幣の相場たる八片見當を唱へてゐるため北支特產の輸出ビルは悉く外銀に流れて不當に彼等を利せしめてゐる現狀である、これがため臨時政府行政部は今般各海關に對し生牛皮、生羊毛、皮乾羊毛皮等の輸出禁止を命じ去る一日から實施したが、引續き近く棉花についても同樣の措置がとられるのではないかと觀測されてゐる

デンマークの女流水泳選手
世界新記錄

【コペンハーゲン三日發國通】三日當地で擧行された水上競技會において女子中距離の第一人者デンマークのランボルト・ヘベゼル孃は一哩自由形〔二五〇〇メートル自由形〕は夫々世界新記錄を樹立した、即ち一哩[illegible]

○ギロングビーチで作られた米國のＨ・マジソン孃の保持する廿四分三十四秒六を一分二十三秒一も短縮する二十三分十一秒五の快記錄を出し、一五〇〇メートル自由形では一九三六年同國のジーフレデリクセンが作つた二十二分三十六秒七を五十一秒短縮する二十一分四十五秒七の新記錄を出した

羅府で
日本藝術の夕

【ロスアンゼルス三日發國通】日本文化協會では日本の歌舞伎等を上演、日本文化紹介に努めてゐるが四日太田ロスアンゼルス領事より外務省宛目下歐洲より歸國の途にある近衞秀麿氏が近くロスアンゼルスに立寄るのを機會に「日本藝術の夕」を催したいから舞踊の伊藤道夫氏、琴の宮城道雄氏等の招聘方を斡旋してほしいと依賴してゐたが外務省では早速右三氏を出席さすべく盡力する旨回答して來たよつて日本藝術界の三巨匠が揃つてロスアンゼルスの舞臺に立ち日本藝術紹介に異彩を放つてことになるものと大いに期待されてゐる

滿洲事變當時の離滿者
第一陣歸滿

滿洲事變當時張學良一派の北支遁走と共に移動した滿洲人達は協和會その他の斡旋で歸滿の願ひが叶ひ、第一陣たる七十八名は四日午後九時十分奉山線で竈寧、それぞれ鄉里或は身寄の地に落ちつくことになつた

商業登記

滿洲電信電話株式會社社債發行第六回社債總額　金四百萬圓各社債の金額　壹百圓、五百圓、壹千圓、壹萬圓社債の利率　年四分三厘社債の償還方法及期限昭和十五年四月二十日迄据置き其の後每半年各利拂期日に金十萬圓以上を償還又は買入銷却し昭和二十三年四月二十日迄に殘額全部を償還又は買込銷却するものとす但し一部償還は抽籤に依る買入銷却は何時にても之を爲すことを得各社債に付拂込みたる金額全額

第七回社債總額　金貳百萬圓各社債の金額　壹萬圓社債の利率　年四分參厘　社債の償還方法及期限昭和十五年六月一日迄据置き其の後每半年各利拂期日に金五萬圓以上を償還又は買入銷却し昭和二十三年六月一日迄に殘額全部を償還又は抽籤に依る買入銷却す但し一部償還は抽籤に依る買入銷却は何時にても之を爲すことを得各社債に付拂込みたる金額全額

家庭

夏場のご飯には何とか工夫が要る
―炊いた後水分を除くこと―

腐らせぬ永持法

絶對に腐らせない方法はないやうですが、白米は胚芽米、七分搗より腐り難く

十分に洗つた

米はざつと輕く洗つた米より又硬い御飯より腐り難いものです。炊き上つた飯をなるたけ腐らせない様にするには、先づ何よりも飯に觸れる器、例へばお櫃や木杓子などすべてよく乾燥したものを使用することです。次に飯がむれたらふたを取り十分に水蒸氣をたゝせて飯の水分を出來るだけ少くします。何故なら蓋をしておくと蓋に富つた水蒸氣が水滴となつて飯の中におち、從つて飯の水分が多くなり腐り易くなるからです。それで

蓋を取つたら

扇であふいで水蒸氣をたゝせるか蓋の代りに乾いた布巾を被せて水蒸氣を吸はせると宜しい。次にお櫃に移す時も、茶碗に盛る時も飯はなるべく混ぜないことです。何故なら混ぜると云ふことは空氣に多く觸れることで言換へれば細菌に多く觸れさせることになるからです。この點飯を炊いた器の中にそのまゝおくのが一番よいわけですが、釜の溫りのため釜肌の周りはいため易くおいしくありませんから、十分に水蒸氣をたゝせてから乾いたお櫃に混ぜ返へさない様に移すことです。

お櫃に移した

飯は比較的冷たい場所で通風のよい乾燥した場所におくことが第一です。濕氣のある場所や溫まり易い場所はいたみ易いものです。氣溫や溫度の高い海岸では木のお櫃の代りに竹籠のお櫃を使用すると腐るのを防げます。又、水炊きよりも湯たきの方が腐り難いやうです。梅干を二三ケ入れて炊くと腐り難いと云ひますが

飯が少量の時

は効果がありますが、多量になると効果は少いやうです。但し梅干の周りは確によいやうです。酢を入れるのも効く程入れますと飯に味が付いて面白くありません、然し一體に味つけ飯は殊に茶飯は保ちがよいやうです。殘つた御飯の始末として、ラードかゴマ油でいためておくと腐り難いし、又御飯蒸に入れて蒸し十分に火を通して炊きたての時のやうな注意をすれば保ちがよくなります。おにぎりにして中に梅干を入れて燒くのも一方法です。

皮膚病と適應劑

眞夏の季節に入ると皮膚病がわが世とばかりノサバル、元來皮膚病の因子たる菌虫は溫濕を好むから、いんきん、たむし、水虫、くさ、あせも等は眞夏の候には殊に猖獗を極めるのである、東京芝田村町東京藥院發賣の皮膚病退治の山水は殺菌消毒、收斂三作用兼備の理想的皮膚病藥で最も簡易、迅速に經濟的に皮膚病に卓效を奏するとて全國藥店でスバラシイ人氣で賣れてゐる

パーマネント　夏のお手入れ

▼…夏になるとパーマネントをかける人が非常に多くなつてまゐります。パーマネントはウエーヴが永持ちして便利なものですが、しかしこれの手入れの惡いほど見つともないのはありません。まるで雀の巣のやうな頭で歩いていらつしやる人がとても多いのに驚かされます。で、パーマネントをかけた人に是非實行して頂きたいことは…

▼…第一に、パーマネントをかけると枝毛が増えるから時々シンヂングをすること、方法は毛を少しづゝ分けてねぢつてから指で逆にしごくと枝毛が外へはね出るからそれをシンヂング用の蠟（美容院又は化粧品店で安く賣ります）で燒けば宜しい。後頭の手の屆かぬところは誰れかに賴んでして貰ふ。

▼…第二に、髮に油氣がなくなり易いから洗髮前に油をよくすり込んで毛に榮養を與へること。

▼…第三に、洗髮したら生乾きの中にセットをすること、及び毎朝髮をなでつける時にはブリアンチンで艶を與へること、でないとバサ〳〵として實にみつともないから。

▼…以上の手入れを忘れなかつたら、パーマネントでも常に艶々しい感じを出すことができるものです。

健康相談

食物が水落に支へ　食べる毎に痛む

（問）二十七歳の女、此の間子供の病氣看護のため睡眠不足をすこと續けましたら急に食物が水落につかへ、食べる毎に痛くて、背中の方に迄ひびきます。一口食べてはお湯を含んで通してゐますが胸が重苦しく困つてゐます。是迄別に胃が惡くて醫者に掛つた事はありませんが七年程前に食べすぎから一度胃痙攣をいたしました便通は普通熱もなく舌も余り白くありません、食慾も普通ですが食べると含込む時に痛むので仰向に寢て胸の上から食道の個所をずつと押してみますと、重苦しく痛い感じがします、病名と養生法を御知らせ下さいませ（和代）

（答）文面丈けでは明かでありませんが胃酸過多症の様なものではないでせうか胃酸過多症であれば鹽辛ひものは痛さを増しますから成るべく控へ目にし、御飯はよく咀嚼して御茶漬け等して流し込まない樣に爲さなければなりません輕い運動も亦必要です（回答者新京特別市衞生處長村川五郎）

梅毒の治療法を

（問）誠に恐れ入りますが次の事に就いて御教示願ひます、私は淋病を感染してより一ケ年になります本年二十七才の青年ですが梅毒に犯されて居るのである事を確信して居ります頭髮が多く拔け加ふるに一ケ所スポッとハゲになつて居りますそれで近い中にタンク様の治療機が來るとの事で大いに期待して居るのですが何時頃來京するでせうか、其れ迄に梅毒の方だけは何んとかして治療し度いと思つて居りますが六〇六號ですが和製品でも充分効果ある事でせうか、又水銀注射との割合等如何したら良いでせうか、何本位で良いでせうか又保健所等で實費で施療して戴けるでせうか（惱める若者）

（答）サルバルサン類は和製品でも洋品と何等遜色はありません水銀療法其他サルバルサン類と併用する療法は疾病の經過等によつて定まるものでありますから概括的に何本位なぞと云ふ事は出來ません　保健所（中央通保健所丈けで祝町保健所は治療注射は致しません）の注射料金は規程により市立醫院と同額金五圓ですが施醫院では實費の二圓で行ふ事になつて居ります（回答者新京特別市衞生處長村川五郎）

連載漫畫　屋のやんチャン　西ひさし

ナルホド　コレデトーチカラシクナッタ

ハテ　ナンダロウ

アリヤ　イヌデスヨ

けふの番組
〔M・T・C・Y　新京放送局　六日　水曜日〕

朝

六、〇〇ラヂオ體操（大連）
六、二五ニユース（東京）
六、三〇建國體操
六、五〇初等滿洲語講座　秩父固太郎（大連）
七、一五朝の音樂

引續き　講談社提供キングレコード　兒童劇　のらくろ小隊長
八、二〇氣象通報
八、二五建國體操
九、〇五經濟市況（東京）
九、三〇經濟市況（東京）
一〇、〇〇家庭講座（大連）　育兒講座（六）離乳期の注意　大連醫院小兒科醫長　醫學博士　小林盈藏
一〇、二五料理獻立（大連）
一〇、三五家庭メモ（大連）
一〇、四〇經濟市況（大連・新京）
一一、三五經濟市況（大連）
一一、四〇經濟市況（東京）
一一、五九時報（東京）

晝

〇、〇〇晝の演藝（大連）　マンドリン獨奏　伊藤十五郎　ピアノ伴奏　木村遼次
一、アダヂオ　變ホ長調　ベートーヴエン作曲
二、ラ・セネレントラ　ラークラ作曲
三、ステファニーのガヴオット　ツブールカ作曲
四、ロンド　ニ長調　カラーチエ作曲
〇、三〇ニユース（東京・新京）
一、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、〇〇經濟市況（大連）
三、五〇經濟市況（東京）
四、〇〇ニユース（東京）

ラヂオの御用は　東京無線　電③四九二〇・五三八九番

夜

四、四〇經濟市況（大連）　氣象通報・ニユース（新京）
五、二〇ニユース（鮮語）
五、三五演藝（鮮語）（奉天）
六、〇〇子供の時間（名古屋）　お話　夏の星座（織女星と牽牛星）　村上忠敬
六、二〇コドモの新聞
六、二五ラヂオ夏期大學講座（第三講）　滿洲の植物　理學博士　北川政夫
七、〇〇ニユース（東京）　ニユース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇講演（東京）　＝日比谷公會堂より中繼＝
八、三〇長唄　傾城　唄　君勇　同　笑香　三味線　杵屋勢七郎　同　長三
八、五〇立體物語（東京）　道は一つ　作並脚色　甲賀三郎　松江正太郎　清水將夫　正太郎の父金三　大川精一　及湯澤晋吉　水島　芳枝　江川なほみ　戸田ひさ子　平井岐代子　伴奏　東京放送管絃樂團
九、二九時報・ニユース・ニユース解説（東京）　氣象通報・ニユース・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、二〇ニユース再放送
一〇、三〇北滿の時間（哈爾濱）

アナウンサー　荒井、小澤（晝）田中、上森（夜）

長唄『傾城』
〔後八・〇〇　新京〕

唄　君勇
同　笑香
三味線　杵屋勢七郎
同　長三

歌詞

二上り「假初の夢も浮寢の仇枕、又いつかはと思ひやりなき　合　うつら〳〵と眠る蝶、合　誰か玉章を繰返し卷きかへしぬる筆のあや　合　是も前世の約束と、思や思ふ程いとしうてならぬ、何とせう　合　馴れし廓の春霞、立つや彌生の花の頃　合　一寸見初めしウチカケに、いつ迄草のしつけその、思ひ亂るゝ玉柳、又吹き返す折もがな、有らばや嬉し春の風　合　三下り「閨の扉はなア、皆な繪空ごと　合　逢はぬつらさを焦がるゝよりも　合　逢うて別るゝことこそつらや、秋の扇と捨てられて　合　わしやどうもならねえ、何と思うてゐるさんすことか、ゆるがぬやうに要が大事　サアさうぢやえ　合　手折りもせん人心、流れの水に誘はれて、浮氣にひゞく廓の鐘、聞けば心もすめやらぬ　合　宵の口説に無理な私言、云はず語らず胸にせまり、かねて　合　退かうと思うてゐるさんす心かえ、さうかいな　合　惡性男の面憎や、オヽ好かん〳〵　合　品よく扇とる袖も風に靡かん我心、ひくは嬉しき君がつま琴

▲解說　この曲は、文化八年江戸中村座の三月狂言に上場した三代目中村歌右衛門七變化の所作事「遲櫻手爾葉七字」の一つで、作曲者は九代目杵屋六左衛門である【寫眞は向つて右から君勇、長三、笑香、杵尾勢七郎さん】

新刊　富士（八月號）

◇非常時局下には夏も暑熱もない、休養も自から平常時とは異なるが、娯樂雜誌などは此際眞ん向きかも知れない、富士八月號はそれらの傾向を反映したやうに充實した内容が國民緊張時の雜誌としての面目を示してゐる

◇明治時代の智將兒玉源太郎將軍の傳記を木村毅氏によつて小說化したのも思ひつきだが一方には新陸相板垣征四郎中將を評傳にすることを忘れなかつたのもよい

◇特輯が三つその一は冒險怪奇實話二篇この中「猛獸映畫撮影危難」は映畫知識の助けともなつて興味が一層深い

◇特輯の二は「新講談面白傑作集」この中には「今戸の牛七」と「厄除け地藏」の二篇が納められてゐる

◇その三「ユーモア傑作集」ユーモア小說三篇漫才一篇、ユーモア落語が二篇夏の讀物らしく肩の凝らないもの揃ひ行屆いた編輯の着眼だ

◇寫眞に山の魅力水の魅力を特輯したのも肯ける企圖である、總じて賑やかにヴラエテイーに富む此號は夏の娯樂雜誌としては最高の水準にありといへよう

卷烟草小賣最高價格決定に關する件

新京特別市佈告第二九號行當第二八六號

暴利取締令第三條に依り卷煙草小賣最高價格を左の通り決定したるに付若し違犯したる者あれば暴利取締令に依り嚴罰に處せらるに付特に佈告す

康德五年六月二十八日　新京特別市長　于靜遠

記

實施期日　康德五年六月二十八日より

牌名	枝數（本數）	價格
大前門（チ・エンメン）	五〇	七角
同	一〇	一角五分
明亞（ミナレット）	一〇	二角
同	五〇	一圓
同	二〇	四角
御用	二五	三角五分
大紅錫包（ルビークイン）	一〇	一角
同	五〇	四角五分
同	一〇〇	九角
小紅錫包（ルビークイン）	一〇	八分
同	五〇	四角
大老刀（パイレット）	一〇	一角
大華道（ウオルドコフ）	一〇	一角
百利（パーレー）	二〇	二角
煙葉	二五	二角
金磚（ゴードバー）	二〇	五分
雙鶴（ダブルクレム）	二〇	五分
哈德門（ハタメン）	一〇	五分
商神（マーキユリ）	一〇	五分
同	二〇	一角
大司令（コマンダー）	一〇	五分
老刀（パイレット）	一〇	五分
海鷹（カモメ）	一〇	五分
同	二〇	一角
急行（スピード）	一〇	五分
美人頭	二〇	一角
合意	二五	一角二分
安吉克	二五	一角五分
美傘（パラソル）	二〇	六分
風車（ウインドミル）	一〇	三分
大情人	二〇	六分
同	一〇	三分
欽差（リガーション）	一〇	三分五厘
大仙島	二〇	六分
金鍾（ベール）	二〇	三分五厘
耕種（ソワー）	一〇	三分
金十字（ゴールデンクロス）	一〇	三分
魚鷹（シーキユル）	二〇	七分
大燕子（スワロー）	二〇	六分
偉人（アスレート）	二〇	一角
數島	二〇	一角五分
駱駝（オアシス）	一〇	一角
美斯（ミユーズ）	一〇	五分
同	二〇	一角
朝日	二〇	一角
金槍（スピアー）	一〇	五分
金胡蘆（ゴード）	一〇	六分
織女	二〇	六分
寶搭	二〇	五分
金寶	一〇	三分
小鳥（ロビン）	一〇	三分
喇嘛謂晉（ラマーシャル）	二〇	一角
東京	一〇	一角
白馬	一〇	五分
同	五〇	二角五分
三六（六六六）	一〇	六分
神風號	一〇	五分
同	二〇	一角
足球（フットボール）	一〇	三分五厘
白鶴	二〇	六分
美女	二〇	五分
大秋（ダツドクロツプ）	一〇	一角
五蝠（ゴバツト）	一〇	五分
萬壽	一〇	五分
胡弓	一〇	三分
芳香（アロマ）	二〇	一角
明星（ベラミー）	一〇	五分
呂宋（マニラ）	五〇	五角
同	一〇	一角
美人（ビユーラー）	一〇	五分
花旗（ニユーヨーク）	一〇	五分
天壇	一〇	五分
密斯（ミツス）	一〇	三分
馬球（ホースボール）	一〇	三分
飛鷹	一〇	三分
金壽	一〇	三分
二十號	二五	三角五分
同	二五〇	三圓三角
四號	二〇	一角七分
四號	二五〇	二圓四角
阿達	二五	一角五分
灌佛特拉（コンフオトル）	二〇	一角八分
列過拉轉（レコールド）	二五	一角二分
牙刻（ヤカ）	二五	一角五分
內閣	二〇	二角
善吉	二五	一角五分
同	二五〇	一圓五角
五十號	一〇	七分

學藝

シナリオ……榮光悲歎（九）
―「翼の道」改題―
合田實

43　（4）の部屋

紀美代　急ぎ足で部屋へ這入る

散亂してゐる書類

開放されてゐる金庫の扉

長井の姿見えない

紀美代　思はず窓際に依つて外を見る

そしてぎよつとした樣に立ちすくむ

44　窓から見た街路

向ふの電柱の陰に　こちらの家の角に　黒い人影が動いてゐる

45　或るアパートの一室

中央に大きなダブルベッドがあつて、その左側に小さな押入兼洋服箪笥の樣なものがある

長井　急に何處かへ旅立つのであらう、種々な書類や着物等を大きなトランクに詰めてゐる

突然　ドアーをノックする

長井　ぎくッ、として素早くベッドに隱してあるピストルを取つてドアーへ近寄り　誰何する

長井　どなたです

外で女の聲がする

女『あたし紀美代ですの』

長井　ほつとしてドアーを開ける　（カット）

46　暗い街路

雨にぬれた暗い街路を　幾台かのサイドカーや（ハイヤーが走り去る

非常警戒であらう　五六名の警官隊が、向ふの細い露路を走り去ると元の靜寂にかへる

47　（45）のアパート内部

長井は落付いた語調で

長井『さうですか―貴女は金が欲しいんですね、然し今はもうその時ではありません―今も言つた樣に、僕は明日急に旅立つ事になりました以前は―否昨日までは僕は貴女を想つてゐたのです……

だが今の僕は女の事なんか考へてゐる余裕がありません』（カット）

カメラは靜かに移動して見せる

すべてを監視して哀願する紀美代へ

紀美代『あたしどんな事でも致しますから』

カメラ、急迫に移動

長井　強い語調で

長井『よろしい――だが貴女は僕の要求する事に絕對服從出來ますね？』

紀美代『え、』

と紀美代無心に肯く

長井『貴女は誰にこの金を……これを持つて僕と一緒に、ロンドンへ行くのです』

紀美代『え、何處へでも―貴男と一緒に……』（フエードアウト）

48　紀美代のアパート（表通り）

暗いアパートの表通りをサイドカーが二台、快速度で走り去ると、淡暗い電柱の陰から出て來る人影

『いゝか五分間だぞ―』

49　紀美代のアパート（內部）

志村　紀美代の歸りを待佗びてゐる

カメラ　靜かに移動

ドアーの開く音に、はつとする志村　紀美代の蒼白な顏　亂れた髮　そして靜かに、カメラに向つて步く（移動後退）

いくらかの紙幣を投出す樣に志村の前に置いて哀願するかの樣な瞳に泪が光る―。（カット）

紀美代『あんた！お金です　發動機を一日も早くね……そして―志村武發動機を世界中に擴めてよねえ……』

志村　紀美代を強く〳〵抱擁して

志村『紀美代―ありがとう―ありがとう』

紀美代の視線　志村を凝視して

紀美代『あんた――もう何も言はないで』

志村の抱擁を輕く放して立上る

紀美代『あたしまだ用事があるの――さやうなら――』

志村　愕然と立上つてそれを追ふ樣に――

志村『おい―紀美代　何處へ行くんだ』（カット）

大同劇團日本公演について（下）
森武

現在、日本の新劇團體を代表してゐる新協劇團の村山知義氏は――新協劇團の昨年より月給制度確立以後、目に見えて劇團員の腰が据つて來、全精力が演劇のために打ちこまれるやうになり意志の動搖メンバーの移動がなくなり、理論的にも技術的にも進步がいちぢるしくなつた――と云つてゐる。まつたく、劇團活動に於ては經濟的基礎確立がなされてゐると、ゐないとでは、その良き意圖の惡き結果に終る事が多いのではなからうか。

今回の日本公演によつて、劇團がいかに多くの演劇活動に於ける良き條件を戰ひ取らうとしてゐるか

新しき演劇においては、次の樣な專門家の協力乃至統制的機構によつてこそ、よりよき成果を生む事が出來るのだ

一、作家　（戲曲）

一、演出家　又は舞台監督（演出）

一、裝置家　照明、效果、衣裳係（裝置）

一、俳優　（演技）

これ等の人々の集團的活動が一體となる演劇に於ては、良き條件のもとに進められねばならない。

その結果はさつそく公演活動に現はれてくるのだから。

―日本公演においては、損をしない本公演を企畫される得る事

―日本公演と云ふ事によつて廣範圍にわたつて、メンバーの動員をなし得る事。

―日本公演と云ふ事によつて本格的な稽古を要求出來る事

―今までの小公演においては五日、一週間と云ふ無茶に近い稽古で上演してゐたのであるが、この公演においては、二ケ月間の充分過ぎる稽古を用意して、われわれの最大の能力を發揮しやうと考へる。

―日本內地行きによつて第二部、第三部の人達に日本の文化に對する認識を深めさせ得る事

日本の文化は、昔、中國から移植したものだから、どうせ中國以上のものは有り得ないだらう、外國のものを學ぶなら、西洋のものを學んだ方が良いと、考へてゐる人達が、本當に居るのだから。

われわれが、この一年間になし得なかつた、色々の問題をこの公演によつて、或る程度解決する事が出來るのだ。

最後にわれわれは、日本公演にいかなる戲曲を上演すべきかを考へねばならない。この事が、この公演の根本的なものであり得るから。

日本に於ては「王屬官」の上演を希望してゐるが、現在のこの國の情勢として、あのまゝの內容で持つて行く事は文話會あたりで心配してゐる演劇の價値よりこの國自身が批判の對象になれば、あのまゝ持つて行く事は出來ない譯だ。然し「王屬官」を現在のこの國の事象と當然結びついた「王屬官」にまで發展させる事によつて、この問題は解決するが、われわれはこの「王屬官」によつて、事たれりと決して考へてゐるのではない。出來得るかぎり「王屬官」より一步前進した物を上演したい。その爲に、劇團では文藝部を積極的に動員して新しき脚本の選出、制作にあたらしめてゐるのだ。

文話會の諸君に、直にこの國の文化運動を愛されるならば、われわれの日本公演が、この國の文化一般の批判にまで發展するものと考へられるならば、この公演の戲曲制作に積極的に協力がありたいと願ふものである。

それは、十分に文化的意義を持つものであり、われわれが日本に於て果たす文化的意義を、より多くその內容を豐富にするものではなからうか。（終）

好感を持てる
―鈴木啓佐吉「木鐸」（『新天地』七月號）―

[illegible]は、獨人勞働[illegible]道路工事で[illegible]して一人の[illegible]書かれた小說[illegible]、或る夜野合[illegible]が、その女は[illegible]であつた。男[illegible]る報酬は殆ん[illegible]け野つ原に凝[illegible]の男を引き入[illegible]に、河にはまつ[illegible]たやうな氣にな[illegible]が無くて氣持[illegible]言ふべきか。そ[illegible]者の姿を眺めて[illegible]

遲暮（二）
郁達夫作
川內堯譯

「あゝ、この人生、この時間といふ鐵の門關、これは誰も脫れ得ないものなのだ、誰もそれを引きはづし得ないのだ」

[illegible]別れて數台の自動車に乘つた、彼は南方へ[illegible]

ゆく數年前と同樣に衰落してゐる杭州の街を見た、すると心中に何とも言ひやうのないつめたい興醒めな氣持が起つて來た、彼の唇からは危ふくまた獨白がとび出しさうであつた。

杭州に住むやうになつた翌日、新居の電燈に灯がついた時、林旭は夕飯をすまし、疊の間にきちんとして置いた書齋に這入つて行つた、そして夕飯前に配達して來てゐた上海の新聞を開いた、第一面の大きな字の廣告を見ても何とも思はなかつたが、つゞいて××侵入の政治ニュースだつたがそれもたゞ見出しを見るだけだからまだよかつた、やがて三面の社會面を讀まうとすると、もう文字が甚だぼんやりとして來るのだつた。家の者を呼んで五十燭の電球に換へさせた、そして社會面を讀んで行つたが、まだ字がぼんやりしてゐることは電球を取換へなかつた時と同樣である、彼は眼を何度も擦り、それから首を傾けて考へた、そしてやつと自分の眼が霞んでゐることが判つた、最近眼に合せて用意した老眼鏡が引越し騷ぎで何處に行つたのか判らない、まだ見付からぬのである新聞を放り出し、電燈を消して寢室に這入らうとし、足を滑びながら又輕く獨り言を言つた。

―明日は早く出掛けて眼鏡をあつらへて來ねばならん、どうしてもさうしなくちや！」

引越してからもう一週間にならうとしてゐた、或る日長い雨がやつと晴れた午後、林旭は晝飯に杭州で有名な醋溜鯁魚を啖ひ、好い氣持に醉つて書齋の籐椅子に橫はり鼻先きで微吟してゐた。

冷雨春を埋む四月の初―歸り來つて―故鄕の魚を飽食す―范睢―書術奇厚を成す―王覇の妻兒―愛居を索む―亂に傷き久しく嫌ふ―文字の獄―偸安し―新たに武陵の漁を學ぶ―柴米を商量し分排定まる―綬かに湖に向ひ鹿車を試む―

身體をごろごろさせててこの五十六字を吟じた、讀御と平仄とが合ふかどうかを考へてゐると、門鈴が響いて、彼のもう六歲になつた子供が駈け込んで來て「お客樣よ！」と言つた。

客間に急いで行つてみて、彼ははじめぼんやりしてしまつた、暫らくその客が誰なのか判らなかつた。そこに客の言つた言葉「君はまだ僕が廣東にゐると思つてゐたらう？」と切り出したのを聞いて、彼は「あゝ！」と一言いひ、進んで客の手を握つた、そして只「仲子！仲子！」と客の名を呼ぶばかりで、暫らくは何の[illegible]

詩人の黄仲子が十餘年前に第一詩集を出した頃、林旭は上海で彼と親しく交際つてゐた。當時或る男が林旭を誹謗して彼は戀愛性慾者だと言つたので、年のまだ若い黄仲子は彼に對して小娘みたいに甚だ羞づかしげにしてゐたものだつた。その後別れて十餘年彼等は時には車窓馬背に、客舍驛亭に顏を合せたことは何度もあつた、時にはそれぞれ自分の作品を贈つたりもした、手紙も取り交した、だがこの靜かな故鄕で會ふといふのは林旭にはまるで夢見るやうな思ひであつた。

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△内外經濟情報（七月號）滿文を以て諸經濟記事を盛る（新京特別市西四道街一三、日滿實業協會滿洲支部　十五錢）

△滿洲國現勢（康德五年版）例年國通より出す年鑑、その內容に於いて愈よ洗錬味加はつて來たのを見得る、グラフもよく選ばれて居る　四六倍五百頁余（新京特別市北安路一一二、滿洲國通信社、三圓）

△新大陸（七月號）村越信夫「北滿の現狀と其の開發問題」その他農具に關する記事が多い（新京特別市東七馬路八、新大陸社　四十錢）

△萬博（六月號）（東京市麹町區有樂町一ノ二、日本萬國博覽會事務局　十錢）

△北日本・定期航路案內（昭和十三年版）北日本航路、それに關係した各地方についての詳細な案內書（小樽市南濱町、北日本汽船株式會社、非賣品）

△ホーム・ライン（七月號）納涼特輯として諸種の記事を盛る（東京市日本橋區本町一丁目、ホーム・ライン社、十錢）

△統計彙誌（二十五號）統計に關する諸研究等を盛る（國務院總務廳統計處）

△統計時報（二卷四號）各種統計を收錄（發行所同上）

△石油代支拂金五億圓　石油開發を叫ぶパンフレット（東京市麹町區內幸町二ノ八、燃料國策研究會、非賣品）

△八島（第十號）校內の動き、學童の作品を載せてゐる（新京八島小學校）

理事更迭問題、組合側態度愼重

經濟部の面會申入れを組合側一應保留

各地組合長の新京參集俟ち 一兩日中改めて會談

理事更迭の正式通達をうけた各地金融組合長は金融組合と一般地方中小商工業者との關係を認識せざる經濟部當局の人事に憤慨し今後における組合業務の責任問題を引提げ地方金融事情を認識せざる當局の理事異動に强硬なる態度を以て臨むこととなつたが、五日經濟部當局者は自發的に組合側に面會を求め善後策に關して懇談を行はんとし、組合側では在京中の組合長が數名にすぎないのでこの申入れを保留し改めて組合側より當局者に面會を求めることゝなつた、然して旣に來京中の奉天大石橋、ハルビンの各組合長のほか奉天、撫順も昨日それ〴〵着京したので愈よ本格的な對策を講ずることゝなつた即ち各地組合長に新京參集を求め

一、金融組合に對する政府の方針

二、獨斷的理事更迭の經緯及び理由

三、今後における組合の責任の歸趨

四、在滿同胞庶民金融に對する政府の態度

につき協議をなし、一兩日中に經濟部を訪問する模樣で一般組合員及び關係者は今後の成行をみまもつてゐる

盛源(國士館)兩四段の講道館投の形、靑木政雄(高師)齋藤三郎(高師)兩四段の講道館的の形、山岡保孝(京中)中島五市(京商)兩五段の講道館古式の形、七段、二宮宗太郎(滿鐵)五段、富木乗治(皇武館)兩氏の講道館五の形あり何れも奧儀を極めた妙技に滿場の見學者を陶醉させ、午後六時終了した【寫眞は合同練習】

スタンプ展覽會

觀光協會創立三周年記念に

八月上旬一週間を興味深い催し

新京觀光協會では康德三年八月設立以來國都觀光事業に力を盡し本年四月驛前に觀光案內所を開設するに至り愈々事業も軌道に乘つた觀を示してゐるが、八月を以て創立第三年を迎へるに當り滿洲觀光聯盟、ツーリストビユーロー及び本社並に在京僚紙後援の下に觀光スタンプ展覽會を八月一日より七日まで寶山百貨店で開くことゝなつた、本展覽會は最近頓に勃興したスタンプ蒐集熱を利用して觀光觀念を一般に普及すると共に兼ねて觀光地の紹介宣傳を行ふものので會場內に

新京各名所寫眞及びスタンプ約十個所、全滿、北支各觀光地寫眞及びスタンプ約四十個所、新京市內著名機關スタンプ約五十個所、特別出品(觀光に關する寫眞繪葉、ヂオラマ其の他)

を陳列して觀光氣分を横溢せしめると共に前記各スタンプを用意して自由に押捺せしめ居ながらにして新京名所より全滿北支の觀光地を巡り記念スタンプをも得られるといふ趣向で、備付けの觀光地スタンプ全部を押捺した者には抽籤で左記の通り觀光地招待の名目で無料觀光券(旅行券)を交付して觀覽者の興味を煽ることゝしてゐる

一等(一名)旅行券五十圓券、二等(三名)同廿圓券、三等(五名)同拾圓券、四等(十名)同五圓券、等外(三十五名)國都觀光バス(ユンカース黃龍)乘車券一枚(但し觀光時は一定して主催者が招待するものとす)

尙準備の爲同協會では七日午後二時より在京觀光關係の打合せを行ふ外各地觀光協會と連絡を取り萬全を期してゐる

滿場妙技に陶醉

學生軍歡迎柔道會

滿洲帝國武道會主催東京學生柔道聯合軍歡迎合同練習並に柔道紹介の會は東都大學專門學校の雄三十六名を迎へ五日午後四時半より大經路小學校講堂に於て開催された、定刻一同日滿兩國旗に敬禮滿洲帝國武道會理事長皆川敎育司長の開會歡迎の辭、東京學生柔道聯盟理事長高廣三郞氏の挨拶あり學生軍監督菊地六段以下學生に對する藤原、岩科五段以下新京有段者三十餘名の壯烈な猛練習を行ひ終つて柔道紹介の會に入り京中生の講道館柔の形を始め細川□州男(國士館)玉城

わが機の强さに感激

南昌空襲の偉勳語る三勇士

【南京五日發國通】南昌空襲の武勳に輝く指揮官相生大尉四元、周防兩中尉は特に多數の機を擊墜、赫々たる殊勳を樹てた小林久七一空曹(群馬縣出身)黑岩利雄一空曹(福岡縣出身)の奮闘を讚へながら〇〇基地で語る

▲相生大尉談 下士官各機は翼と翼とがすれあふ位に敵に接近して必中の一發で相手をやつけてゐるさまをみて幾度か空の戰線に臨んだ自分も今日程わが各機の强さに感激した事はなかつた

相手の敵も今日は見劣りない精鋭主力であつたことはわれ〳〵海軍航空部隊として漢口大空襲以來の滿足であつた

▲四元中尉談 イギリスが世界に誇るグロスター・グラヂエーターの複葉の獰猛な姿を見付けた時は嬉しかつた、敵搭乘員も外國人敎官らしく實に巧みに攻擊を避け技術としては素晴しいもので時折り二機が颯つとすれ違ふばかりに接近することがある、その度に衝突したと覺悟した時が再三であつたが、遂に敵機が白煙黑煙に包まれ火を吐いて落下するのを見定めた時は思はず萬歲と叫びました

▲周防中尉談 漢口空襲の時のやうにけふも擊墜したら落下傘で脫出した奴が七、八人あつた、憎いので體に觸れる位接近してよく見ると何れも身體が大きく飛行服は着用せずズボンに輕いジャンパーといふ姿でどうしても外國人のやうであつた

兵庫縣下に豪雨

東海、山陽兩線不通

【東京國通】關東一圓を襲つた水害も漸く收まりほつと一息吐く間もなく矢繼早に關西方面に豪雨襲來、五日午前九時兵庫縣一帶の豪雨により東海道本線神崎＝三ノ宮間、山陽線須磨＝明石間の線路が流失不通となつた、目下の所徒步その他による連絡方法なく復舊の見込も不明である、四日午後九時東京發下關行急行列車は無事現場を通過したが午後十時並に十一時發の下關行急行は何れも大阪驛に停車中で上下線とも夫々大阪及び明石驛で折返し運轉中、なほ午後零時廿分神戶發東京行特急「燕」は大阪驛より發車の豫定である、山陽線の被害は午前九時頃明石＝舞子間に土砂崩壞あり上り線が埋沒したので下り單線運轉中である

【東京國通】東京鐵道局への報告によれば東海道線三宮＝神崎間、山陽線須磨＝鹽屋間の不通個所は五日午後三時頃雨が弱つて來たが、浸水個所は減水の見込みがなく、現在のところ阪神間の陸上交通機關は全滅し、今夜中の復舊は困難の模樣である、下關方面からの上り列車は明石から折返し運轉を行ひ、午前八時五十分、九時廿五分下關發東京行急行は明石驛に立往生した

神戶市內の被害甚大

【神戶國通】昨日來の豪雨のため神戶市內は各所に家屋の浸水倒壞が相踵ぎ午前十時卅分現在の被害は家屋の床上浸水二萬五千戶に對し、山の手は崖崩れのため倒潰家屋百廿餘、市內電車は一部不通、阪神阪神間の自動車連絡も杜絕したが午後一時には北野平野兩川が氾濫更に天王臺の池も決潰し各河川は刻々水嵩を增しこれ等流域の流失家屋は二百餘戶に達した、目下神戶市內の交通は小舟による外なく各警察署ではモーターボートを出して市民の避難防水に努めてゐるが交通杜絕のため詳細は全く不明である、また神戶取引所は市內の交通不能のため俄かに商議員會の決議によつて證券米穀燐繊絲の各部後場立會を休止した

內外船舶缺航

【神戶國通】五日の神戶港は大雨のため內外航路ともに全部缺航するといふ數十年來にない現象を呈したが、午後二時過ぎには漸く晴れ間をみせ陽光も仰がれる狀態になつたので船舶は出港、入港の準備をはじめた、しかし海岸一帶は豫想外に被害が少なかつた

姬路城石垣決潰

【姬路國通】連日の大雨のため姬路城の地盤が緩み警戒中であつたが、五日朝西ノ丸東側板塀と石垣が高さ五六間、幅四間程大音響と共に破壞した、幸ひ死傷者はなく損害は約一萬圓である

金少山一座入京

北京梨園の大立物金少山の率ゆる松竹社劇團は、市民の好人氣裡に六日より十日まで豐樂劇場で蓋開けするが、一座の人氣女優で大連生れの名花吳素秋孃は金座長の國都入りに先立ち座員十餘名と共に五日午後四時廿分新京驛着列車で主催者たる東方文化協會、大同報社、盛京時報社各關係者多數の出迎裡に入京、旅館越香春に入つた、なほ金座長は六日午前七時着京の豫定である【寫眞は驛着の吳素秋】

紙を節約しませう

事變一周年を期し永久的に・全市民に呼掛けて

來る七月七日の支那事變一周年記念日を迎ふるに當り滿洲帝國協和會首都本部では各分會に命じ各種運動を積極的に行はしめる事となつてゐるが特別市公署ではこの趣旨に基き事變下に於ける資源擁護の一運動として七月七日を發足日として「紙の節約勵行運動」を提唱して廣く全市民に呼びかけることと決定した、これが實施要領は左の如くで今後永久的に續ける方針である

(イ)各デパート商店に於ける包紙の節約

(ロ)飮食店、食堂に於ける紙製ナフキンの節約

(ハ)官廳、銀行、會社等に於ける用紙の節約並に兩面利用奬勵

(ニ)反古紙利用封筒の使用奬勵

(ホ)活動寫眞館に於けるプログラム節約

(ヘ)本趣旨による各家庭に於ける紙の節約を進めてゐる

戰捷祈願祭

七日朝九時半 新京神社で

七月七日支那事變記念日に際し全市民擧げて當日午前九時半より新京神社境內で事變記念戰捷祈願祭を擧行することゝなり市公署に於て着々準備を進めてゐる

對蔣援助中止

英佛ソ三國に對し在日華僑が懇請

【東京國通】神戶在留の華僑は支那事變一周年を迎へるに當つて今日なほ英佛ソ三國が蔣政權に援助を與へるが如き態度は徒らに戰爭を長びかせ支那民衆を苦しめるものだとし、五日朝三國大使館宛長文の請願文を手交、各本國に對し蔣介石援助卽時中止を傳達されたいと懇請した、請願文大要左の如し

盧溝橋事件以來すでに一年國民は長期の苦難を受け鄕家を喪つて流浪し、災民各地に充ちて慘狀を極む、わが國民衆は一日も早く平和を望みその方途を講じつゝある、しかるに貴國は專ら直接に武器の大量輸出、殊に種々なる亡國條件をもつて借款を結ぶなどの援助を敢てし、戰爭の延長によつて東亞民族に寧日なからしめわが東亞民族の相互殺戮を利用して所謂黃禍を避けんとしつゝあるが、わが東亞民族精神は未だ死せず、今日すでに覺醒して共存共榮をはかり、東亞永遠の和平を希求しつゝあるものなり、こゝに貴國大使に請願し貴國大使よりも貴國朝野人士に注意を喚起されんことを冀ふ

新民會代表各機關歷訪

四日來京した北支新民會宋介氏一行はヤマトホテルに一夜を明かし、五日午前八時三十分宿舍出發忠靈塔參拜、九時

ジメ〳〵してもう不可ません

―この雨、雨季の雨

滿洲各地は四、五日このかたいづれもカラリとしない空工合を續けてゐるが、中央觀象台にお伺ひを立てると例年通りの雨季に入つたからです、全滿一帶に小さい低氣壓が斷續してゐてこれがなか〳〵退却しさうもないからまあ當分こんなジメジメした日が續きませうとの御託宣である、地理的に五日の晴雨狀態を見ると滿鐵本線一帶は何れも雨、西滿洲は曇勝ちで時々驟雨、東滿洲方面はやゝ晴れといつた狀態だつた、この日午前六時から午後四時までの新京の降雨量は坪當り九斗一升五合で相當多量だつたが、今後大きな低氣壓が發生しない限り內地のやうな水害の心配はまづあるまいと觀測してゐる

磯谷中將

東京に歸還

【東京國通】北支、中支に轉戰して赫々の武勳を樹てた磯谷中將は梅雨晴れの五日午前八時東京驛着列車で歸還、驛頭には西尾敎育總監、多田參謀次長、東條次官以下陸軍部內の關係者數十名が出迎へ、後部一等車から悠々と降り立つた中將は戰鬪帽姿も颯爽と聖戰十ケ月餘の戰塵に日焦けした面に武勳を偲ばせながら感激の挨拶を交した後、宿舍の萬世ホテルに入つた、なほ磯谷中將は午前十時卅分參謀本部に閑院參謀總長宮殿下に任務を報告したが、午後六時半陸相官邸における三長官主催の晚餐會に臨む筈で來る八日宮中に參內の豫定である

田中中銀總裁

東上中の田中中銀總裁は七日午後十時着ひかりで歸任の豫定

于治安部大臣

于治安部大臣は營口海邊警察隊檢閱のため五日午前八時新京驛發列車で南下した

協和會中央本部を訪問、會務職員と交驩をとげ同三十分國務院に赴き國務總理、谷次長と會見、十時より關東軍同卅分より駐滿海軍部を訪問種々懇談を遂げた後十一時半より中銀クラブに於ける外務局長官の招宴に臨んだ、尙午後は一時三十分宮內府訪問記帳の後三時市公署、三時國立衞生技術廠參觀午後六時から中央飯店に於ける協和會中央本部招宴に臨んだ

毎月一回必ず獻金

奇特な白露女性

毎月一回必ず僅かながらも皇軍慰問獻金を行ふ奇特な白系露人女性富士町二丁目七義昌公司內イ・ヤ・レベデワ(二四)さんは五日中央通警察署へ又僅かですがと二圓五十錢を寄託した

丸福の果實

銀座新道の丸福果實店では中元贈答用の果物盛籠、洋酒、葡萄酒、シロップ、ビールの大賣出し中

日滿百貨店

日本橋通りの日滿百貨店では七日まで夏の誓文拂ひを驚異的値段でやつてゐるが吳服、洋品の二割引、五割引など人氣をあつめてゐる

丸美屋

新京銀座半ゐり丶小間物の店丸美屋では五日から十四日まで中元贈答品特價大賣出しを行ふ人絹半ゑり、同腰帶・同帶締、同帶上、正絹帶締、同絞帶上、伊達締め、ハンドバック等特價奉仕品或は半額提供品を山積されてゐる

新京パレス披露

西五馬路新京パレスと其の姉妹カフエーダイヤ街のパラダイスには今般內地より新人女給十數名が來店したので披露のため來る六、七日の兩日は特別サービスとして粗品を進呈するそうである

市公署庶務股の黑田君、この前內地に行つてからといふものはすつかり人間が變つてしまつた▼唯變つたといふよりも生れ變つたといふ方が適當かも知れぬ、斗酒尙辭せずといつた豪のものであつたがそれ以來ピッタリ酒は止めてしまつた煙草も一日スピヤ三箱のところ一箱に節約し更に▼外で飯なぞ食ふのは不經濟だと毎日女房のつくつた辨當をパクついてゐる一體これは何とした現象か、彼黑田は次の如くその因つて來たるところを明らかにしてゐる▼「時は正に非常時だ、吾々だけが安閑として暮してゐる權利はないだらう、戰線だけではない、更に目を轉じて內地をみよ、どこに行つても緊張が充滿してゐる、君日本は今戰爭してゐるんだぜ、俺が酒を止め腰辨さげる譯もそこに深く感ずるものがあつたからだ」と

けふの天氣 南寄の風後驟雨

きのふ 模樣 一時晴

氣溫 最高 二〇・八 最低 一八・九

若殿膝栗毛（わかとのひざくりげ）

（蹴上上演）

中川郎之助

竹花一郎畫

（四十四）

靈藥

「召捕られた浪人といふのは、どんな奴か御存知ないか」

「齢の若い、素的に好い男子で、誰かが、あれは、松平長七郎さまだといつてゐた。まさか、大納言の若様が、女を連れて、人殺しもなさるまいでのう」

「あッ、黒田に違ひない。やつぱりさうだつたか」

話を聞いて、軍平は心で叫んだ。

長七郎によく似た黒田の姿が、お銀の浮氣心を動かしてゐるらしいと、薄々感づいてゐた彼であつた。

「その浪人は、怪我をして、役人が付添ひ、關津の番所へ送られた」

それを聞くと軍平。

「よしッ」とばかり、宿を飛出し、關津の方へ、夜道を驅出した。

×　×　×

逢坂は、關津と江尻の間に當る山奥で、くねり曲つた細道は、樵夫か獵師か炭焼の通ひ路。旅人なぞは通りもしなければ、街道筋から、わざわざこんな處へ紛れ込んで來る筈もない。

その道を、だんだん山奥へ這入つて行くと、とある山角に、見あげるばかりの大巖が、屏のやうに団張つてゐる。いつ誰が言ひ始めたともなく、この巖を天狗岩と呼んでゐる。

その天狗岩の影から、人の話聲が、ボソボソと洩れて來る。

それは、昨夜捕方の手から、黒田猪輔を救つた大江軍平と、救はれた黒田の二人であつた。

軍平は、黒田を救ふとそのまゝ、驅つける彼を小脇に引抱へ、山といはず、谿といはず、足にまかせて走つた。そしてこの天狗岩まで來た時、夜はほのぼのと明けて來たのである。

軍平は、石に腰をかけ、黒田はその側に、伏身になつて隠れてゐる。セイセイと肩で息をしてゐるのが、いかにも苦しさうだ。

衣服はぼろぼろに破れて、ところどころ血に汚れて、いかにも激しい爭ひの後を物語つてゐる。

「どうだ？　少しは樂になれたかい」

「ありがたう。さつきの藥で、氣分がよほどハツキリして來ました」

さつき谿流を掬んで、軍平に服ませて貰つたのが銀色をした小粒の藥。それを服むと、黒田は、頓に元氣が出て、あたりが一ぺんに明るくなつたやうな氣がしたのである。

「さうだらう。あれは靈藥だ。あれは天主が、吾等に授け給うた不思議の藥だ。有難いと思はねばならぬ」と、眞剣にいつて軍平は懐から小さな十字架を取り出すとそれを胸のところに押當て、ヂツと目を瞑つて、暫らく感謝の祈りを捧げた。

十字架は、晃々と銀色の光を放つた。

あたりは段々、朝の陽に白々と染められて行つた。樹立の奥から、小鳥の眼ざめた囀聲と猿叩きとが聞えて來た。

「ときに黒田。おれは、あんな危險を犯してまで、なぜおまへを救つたか、その理由が、おまへにわかるか」

軍平は、十字架を押戴いて、ふところへ仕舞ひながら、改まつた調子で問ひかけたのである。

「救つたわけ……？」

「さうだ。本來なれば、おまへは助けて置れぬ奴なのだ。おまへはおれたちを裏切つて、大ぜいの同志に、煮湯を呑ました卑劣な奴なんだ」

「いや濟まぬ。それは誤解だ。拙者は決してそんな……」と辯解はするものゝ、黒田の言葉には力がなかつた。

若殿膝栗毛（わかとのひざくりげ）（四十四）

中川 邸之助（上演 上映）
竹 〻 一郎 畫

靈藥

「召捕られた浪人といふのは、どんな奴か御存知ないか」

「船の若い、素的に好い男子で、誰かが、あれは、松平長七郎さまだといつてゐた。まさか、大納言の若様が、女を連れて、人殺しもなさるまいてのう」

「あッ、黒田に違ひない。やつぱりさうだつたか」

話を聞いて、軍平は心で叫んだ。

長七郎によく似た黒田の姿が、お銀の浮気心を動かしてゐるらしいと、薄々感づいてゐた彼であつた。

「その浪人は、怪我をして、役人が付添ひ、興津の番所へ送られた」

それを聞くと軍平。

「よしッ」とばかり、宿を飛出し、

興津の方へ、夜道を驅出した。

×× ×× ××

興津と江尻の間に當る山奥で、くねり曲つた細道は、樵夫か獵師か炭燒の通ひ路。旅人なんぞは通りもしなければ、街道筋から、わざわざこんな處へ紛れ込んで來る筈もない。

その道を、だんだん山奥へ這入つて行くと、とある山角に、見あげるばかりの大巖が、塀のやうに屏張つてゐる。いつ誰が言ひ始めたともなく、この巖を天狗岩と呼んでゐる。

その天狗岩の蔭から、人の話し聲が、ボソ／＼と洩れて來る。

それは、昨夜捕方の手から、黒田新十郎を救つた大江軍平と、救はれた黒田の二人であつた。

軍平は、黒田を救ふとそのまゝ驅つける彼を小脇に引抱へ、山といはず、谿といはず、足にまかせて走つた。そしてこの天狗岩まで來た時、夜はほの／＼と明けて來たのである。

軍平は、石に腰をかけ、黒田はその脚に、伏身になつて倒れてゐる。セイセイと肩で息をしてゐるのが、いかにも苦しさうだ。

衣服はぼろ／＼に綻れて、ところどころ血に汚れて、いかにも激しい爭ひの後を物語つてゐる。

「どうだ？　少しは楽になれたかい」

「ありがたう。さつきの藥で、氣分がよほどハッキリして來ました」

さつき谿流を掬んで、軍平に服ませて貰つたのが銀色をした小粒の藥。それを服むと、黒田は、頓に元氣が出て、あたりが一ぺんに明るくなつたやうな氣がしたのである。

「さうだらう。あれは靈藥だ。あれは天主が、吾等に授け給うた不思議の藥だ。有難いと思はねばならぬ」と、眞顔にいつて軍平は懐から小さな十字架を取り出すとそれを胸のところに押當て、ヂッと目を瞑つて、暫らく感謝の祈りを捧げた。

十字架は、晃々と銀色の光を放つた。

あたりは漸々、朝の陽に白々染められて行つた。樹立の奥から、小鳥の眼ざめた囀聲と羽叩きとが聞えて來た。

「ときに黒田。おれは、あんな危險を犯してまで、なぜおまへを救つたか、その理由が、おまへにわかるか」

軍平は、十字架を押戴いて、ふところへ仕舞ひながら、改まつた調子で問ひかけたのである。

「救つたわけ……？」

「さうだ。本來なれば、おまへは助けて遣れぬ奴なのだ。おまへはおれたちを裏切つて、大ぜいの同志に、毒藥を呑ました卑劣な奴なんだ」

「いや違ふ。それは誤解だ。拙者は決してそんな……」と辯解はするものゝ、黒田の言葉には力がなかつた。

若殿膝栗毛

（新興上映）　中川陽之助 作　竹花一郎 畫

（四十四）

靈藥

「召捕られた浪人といふのは、どんな奴か御存知ないか」

「齢の若い、素的に好い男子で、誰かが、あれは、松平長七郎さまだといつてゐた。かまさか、大納言の若様が、女を連れて、人殺しもなさるまいてのう」

「あツ、黒田に違ひない。やつぱりさうだつたか」

話を聞いて、軍平は心で叫んだ。

長七郎によく似た黒田の姿が、お銀の浮氣心を動かしてゐるらしいと、稍々感づいてゐた彼であつた。

「その浪人は、怪我をして、役人が付添ひ、興津の番所へ送られた」

それを聞くと軍平。

「よしツ」とばかり、宿を飛出し、興津の方へ、夜道を驅出した。

×　×　×　×

興津と江尻の間に當る山奥で、くねり曲つた細道は、樵夫か獵師か炭燒の通ひ路。旅人なんぞは通りもしなければ、街道筋から、わざわざこんな處へ紛れ込んで來る筈もない。

その道を、だんだん山奥へ這入つて行くと、とある山角に、見あげるばかりの大巖が、屏のやうに頑張つてゐる。いつ誰が言ひ始めたともなく、この巖を天狗岩と呼んでゐる。

その天狗岩の蔭から、人の話し聲が、ボソボソと洩れて來る。

それは、昨夜捕方の手から、黒田強輔を救つた大江軍平と、救はれた黒田の二人であつた。

軍平は、黒田を奪ふとそのまゝ驅つける彼を小脇に引抱へ、山といはず、谿といはず、足にまかせて逃つた。そしてこの天狗岩まで來た時、夜はほのぼのと明けて來たのである。

軍平は、石に腰をかけ、黒田はその前に、伏身になつて倒れてゐる。セイセイと肩で息をしてゐるのが、いかにも苦しさうだ。

衣服はぼろぼろに綻れて、ところどころ血に汚れて、いかにも激しい爭ひの後を物語つてゐる。

「どうだ？　少しは樂になれたかい」

「ありがたう。さつきの藥で、氣分がよほどハツキリして來ました」

さつき谿流を掬んで、軍平に服ませて貰つたのが銀色をした小粒の藥。それを服むと、黒田は、頭に元氣が出て、あたりが一ぺんに明るくなつたやうな氣がしたのである。

「さうだらう。あれは靈藥だ。あれは天主が、吾等に授け給うた不思議の藥だ。有難いと思はねばならぬ」と、眞顏にいつて軍平は懐から小さな十字架を取り出すとそれを胸のところに押當て、ヂツと目を瞑つて、暫らく感謝の祈りを捧げた。

十字架は、晃々と銀色の光を放つた。

あたりは漸々、朝の陽に白々染められて行つた。樹立の奥から、小鳥の眼ざめた囀聲と羽叩きとが聞えて來た。

「ときに黒田。おれは、あんな危險を犯してまで、なぜおまへを救つたか、その理由が、おまへにわかるか」

軍平は、十字架を押戴いて、ふところへ仕舞ひながら、改まつた調子で問ひかけたのである。

「救つたわけ……？」

「さうだ。本來なれば、おまへは助けて遣れぬ奴なのだ。おまへはおれたちを裏切つて、大ぜいの同志に、毒湯を呑ました卑劣な奴なんだ」

「いや違ふ。それは誤解だ。拙者は決してそんな……」と辯解はするものゝ、黒田の言葉には力がなかつた。